

令和3年6月

飯田市議会第2回定例会議案

## 令和3年飯田市議会第2回定例会議案目次

(6月4日提出分)

報告第18号	飯田市基本計画の実施状況の概要について
報告第19号	権利の放棄について（指定管理者の指定の取消しによる返還金に係る債権）
報告第20号	権利の放棄について（旧市営住宅敷地の貸付料に係る債権）
報告第21号	権利の放棄について（病院料金に係る債権）
報告第22号	権利の放棄について（水道料金に係る債権）
報告第23号	令和2年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
報告第24号	令和2年度飯田市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
報告第25号	令和2年度飯田市病院事業会計予算繰越計算書の報告について
報告第26号	令和2年度飯田市水道事業会計予算繰越計算書の報告について
報告第27号	令和2年度飯田市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
報告第28号	飯田市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について
報告第29号	飯田清掃株式会社の経営状況を説明する書類の提出について
報告第30号	株式会社飯田健康温泉の経営状況を説明する書類の提出について
報告第31号	一般財団法人飯田勤労者共済会の経営状況を説明する書類の提出について
議案第50号	飯田市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について
議案第51号	飯田市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第52号	飯田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第53号	飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第54号	飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第55号	飯田市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について
議案第56号	飯田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第57号	飯田市公共下水道区域外汚水の排除に係る分担金徴収条例及び飯田市公共下水道受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第58号	飯田市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について
議案第59号	市道路線の廃止について
議案第60号	市道路線の認定について
議案第61号	市道路線の変更について
議案第62号	令和3年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案

報告第18号

## 飯田市基本計画の実施状況の概要について

飯田市議会の議決すべき事件を定める条例（平成18年飯田市条例第41号）第3条第1項の規定により、いいだ未来デザイン2028前期計画の実施状況の概要を、別紙のとおり報告する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健



## いいだ未来デザイン 2028 前期計画の実施状況の概要

### 1 はじめに

いいだ未来デザイン2028(2017(平成29)年度～2028(令和10)年度)は、人口の構造的変化や減少、産業構造や働き方改革など地域を取り巻く社会経済の情勢が大きく変化し、先々の変化を予測しつつした長期計画の策定が困難な時代の中で、みんなが共有できるビジョンを掲げ、その実現に向けて多様な主体がそれぞれの立場で「飯田の未来づくり」にチャレンジするための指針として策定しました。

いいだ未来デザイン2028は、キャッチフレーズとして「リニアがもたらす大交流時代に『暮らし豊かなまち』をデザインする～合言葉はムトス 誰もが主役 飯田未来舞台～」を掲げ、12年後にみんなで実現したい「暮らしの姿」「まちの姿」を8つの姿として描き、その実現に向けて、定住人口と交流人口の2つの側面から将来の人口を展望しました。

この基本構想の実現に向けては、前期・中期・後期の4年単位で戦略的かつ重点的に取り組むテーマを基本的方向として定め、その基本的方向に基づき、毎年、重点化した取組として策定する「戦略計画」と、各分野に総合的に取り組むものを組み立てた「分野別計画」で進めています。

### 2 いいだ未来デザイン 2028 を実現するための 12 の基本目標の振り返り

#### 基本目標 1 若者が帰ってこられる産業をつくる

製造業をはじめとした地域産業の支援や新事業創出支援などに取り組み、地域産業の持続的発展に貢献するとともに、つなぐ事業などの担い手確保策を講じてきましたが、若者の回帰定着率は横ばいであり、若者が帰ってこられるための大きな雇用創出につなげるまでには至りませんでした。一方で、リニア時代に向けて、産業振興と人材育成の拠点(エス・バード)の整備やI-Portの立ち上げをはじめとして、魅力ある産業をつくるための基盤を整備することができました。

今後はこうした機能・仕組みをしっかりと活用して、各分野との連携を一層強化し、航空・環境をはじめとした新分野から、精密・電子、食品・農業、水引など地場産業等まで、これまで以上に様々な取組が展開されるよう支援を強化します。

## **基本目標2 飯田市への人の流れをつくる**

移住定住の取組は、相談支援機能の強化、効果的な情報発信等により、即効的な移住促進を図る短期戦略による取組と同時に、交流を契機に関係人口を拡大しながら移住定住につなげていく中長期的戦略を並行して進め一定の成果を上げることができました。コロナ禍においては、移住相談や移住支援について可能な取組を進めました。

また、当地域の多様な魅力を組み合わせたツアーの実施により、首都圏や中京圏からの誘客を進めるとともに、イベント等を通じた中心市街地の魅力発信に取り組み、関係人口の増加に寄与しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大以降は、地域外との往来が難しくなり大きな制約を受けましたが、デジタル技術を活用したオンライン丘フェスを開催するなど、コロナ収束時に来飯したくなる拠点づくり・関係づくりを進めることができました。

## **基本目標3 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む**

飯田コミュニティスクールの仕組が徐々に定着・機能しつつあり、地育力を活用した飯田らしい小中連携・一貫教育と、学校における子どもの学びを支える取組や教育課題への対応、高校への接続を考慮した多様な学習機会の充実に向けた取組について一定程度進めることができました。

## **基本目標4 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす**

社会教育機関の連携と、市民研究団体及び地域組織等との協働により、「伊那谷の自然と文化」をテーマとした学術研究、教育普及、保存継承、活用創造の取組を一定程度進めることができました。令和2年度は、コロナ禍で計画どおりの実施が困難な状況が生じましたが、今後の取組にも有効な新たな事業手法を試行しました。

## **基本目標5 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる**

子育て世代包括支援センターとして、母子保健コーディネーターとこども家庭応援センター「ゆいきっず」の連携体制を確立し、妊娠期から子育て期までの途切れない支援体制を整備し、安心して産み育てる環境の実現に近づけることができました。

また、公立保育園の延長保育については拠点方式を見直し、全20地区において保育標準時間（11時間。上村・南信濃は10時間30分。）の提供を実現しました。国の幼児教育保育の無償化を機に、これからの幼児教育保育のあり方につ

いて第2期子育て応援プランに位置づけ、産み育てやすいまちづくりのための保育等の基本的方向性を構築しました。

婚姻件数については目標に到達できませんでしたが、合計特殊出生率は国・県と比較しても高い水準を維持することができ、産みやすい環境・子育てしやすい環境のまちと思う市民の割合の増加につながりました。

#### **基本目標6 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす**

65歳以上における要介護認定者数、認定割合は上昇が続いていましたが、現在は一定の抑制効果が現れています。また、健康寿命延伸に向け、健診の受診勧奨、生活習慣病とその重症化予防を中心に保健指導を行うことで、健診受診率も伸びています。他機関と協働した健康講座の開催は、働き盛り世代への健康への関心を高めるきっかけとなりました。

#### **基本目標7 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる**

「創出される地域福祉活動のモデル数」は目標の40件を超えました。また、地域見守り協定締結事業者が17者にのぼり、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域共生社会の実現に向けて、見守り支え合いなど、自ら行動する共助による共助地域福祉活動が推進されました。

#### **基本目標8 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる**

各地区がこれまで進めてきた地域づくりの様々な活動の中から、地域課題の解決や地域振興に向けて、また、交流人口や関係人口の拡大に向けて、NPOや株式会社等の法人組織に限らず、まちづくり委員会に組織される特別委員会や任意組織を含めた課題解決型事業体が組織され、地域資源を活用した様々な取組に活かされました。

#### **基本目標9 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する**

市民活動団体の活発化に向けた、ムトス飯田助成事業、ムトス賞表彰、学習会、交流会は一定の成果が図られました。男女共同参画や多文化共生社会の実現に向けては、ワーク・ライフ・バランスの推進や多文化共生推進コーディネーターの新設により様々な取組を展開してきましたが、継続的な取組が必要です。

#### **基本目標10 豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる**

廃棄物対策及び地球温暖化対策を環境文化都市実現における重要な取組とし



て位置づけ、家庭と地域から考え実践するために、廃棄物の3Rの推進と、再生可能エネルギーの域産域消を重点テーマにした学習活動を進めました。各指標の目標値に達しないものが多かったものの、学校、公民館、環境アドバイザー、各地区の環境衛生担当委員会等と連携して推進し、市民意識の醸成に寄与しました。

「2050年いいだゼロカーボンシティ」の実現に向けて、市民、事業者、行政などが協働して地域ぐるみで力強く進めていく必要があります。

### **基本目標11 災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める**

災害時においても都市機能が維持できるよう、橋梁の長寿命化、道路舗装修繕、河川や排水路の整備等を進めるなど、社会基盤の強化に取り組みました。また、妙琴浄水場の第1期更新整備事業により、管理棟及び浄水池の耐災害性の向上を図りました。さらに、防災行政無線のデジタル化を進め、命を守るための情報の伝達手段の強化を図っています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、意識啓発活動に制限がかかったものの、4年間を通じて防災・減災に係る啓発、交通事故の撲滅に向けた啓発等を実施し、防災・危機管理意識を高めることができました。

### **基本目標12 リニア時代を支える都市基盤を整備する**

それぞれの事業が進捗する各段階において、国や県との協調・連携はもとより、生活・自然環境へも配慮しつつ、市民との協議プロセスを重視した取組を進めました。リニア関連事業を進める上で、特に理解を得る必要のある移転対象者に対しては、移転や生活再建等について懇切丁寧な説明に心掛け、可能な限り希望に沿う形で移転先が確保できるよう取り組みました。

## **3 人口ビジョンの前期4年間の振り返り**

飯田市の総人口は、2015(平成27)年の国勢調査では101,581人でした。国立社会保障人口問題研究所(社人研)推計によると2028年には約91,000人になると推計されていますが、人口ビジョンでは、2028年の定住人口約96,000人を維持するとともに、休日滞在人口率をその1.62倍として交流人口の増加を目指すことを掲げています。

この目標を達成するため、前期4年間では、エス・バードの開業による地域産業の高付加価値化や人材育成の機能の強化、結いターン移住定住推進室の設置による相談者対応の強化、小中連携・一貫教育の推進とICTを活用した教育

課題対応、人形劇を通じた国際交流、若者の結婚支援や子育て・保育環境の充実、市民に寄り添う各種の保健福祉施策などを重点に展開してきました。またリニア・三遠南信自動車道の開通を控え、駅周辺整備、二次交通の構築、良好な生活環境の保全にも取り組みました。

これらの取組によりUIターン者の数は増加傾向にあるものの、2020（令和2）年における飯田市の人口（住民基本台帳の増減による推計）は97,039人であり、結果的に社人研推計とほぼ同程度の人口で、人口増加策の効果は充分には表れていません。

また、前期最終年である2020（令和2）年には新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、各種イベントやお祭り、観光旅行等に大幅な制約が加わり、交流人口が極端に変化したため、交流人口そのものの現状評価が難しい状況となっています。ただ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前においても、定住人口同様、交流人口の明らかな増加傾向があったとは言い難い状況です。

中期計画4年間においては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中ではありますが、市民の健康や経済活動を守る取組を最優先しながら、人口ビジョンを達成するために、コロナ対策とともにアフターコロナも展望しつつ人口増加につながる戦略を更に強化していきます。

#### 4 中期に向けて

中期計画の策定については、前期計画期間の取組の成果や課題について、議会及び市民に評価していただくとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中で社会が大きく変化することから、今後の社会や人々の暮らしを展望し実効性ある中期計画にするため、学輪IIDAに属する大学研究者等から専門的な知見を取り入れながら進めました。

議会及び市民の皆さんから、「基本的方向については維持すべき」という評価をいただき、中期計画の基本的な方向性は前期計画の内容を継続しつつ、それぞれの意見を反映する形で13の基本目標を設定して、基本構想の実現に向けて引き続き取り組んでいきます（中期計画は令和3年2月24日に議決されました。）。



## 報告第19号

## 権利の放棄について（指定管理者の指定の取消しによる返還金に係る債権）

飯田市債権管理条例（平成20年飯田市条例第35号。以下「条例」という。）第5条の規定により権利を放棄したので、条例第6条の規定により下記のとおり報告する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健

## 記

- 1 放棄した債権の種類 指定管理者の指定の取消しによる返還金に係る債権
- 2 債権を放棄した時期 令和3年3月31日
- 3 放棄した債権の件数 2件
- 4 放棄した債権の金額 1,559,292円
- 5 債権を放棄した理由並びに当該理由ごとの債権を放棄した時期、件数及び金額

理 由	時 期	件 数	金 額
条例第5条第2号に該当	令和3年3月31日	2件	1,559,292円

## 報告第20号

## 権利の放棄について（旧市営住宅敷地の貸付料に係る債権）

飯田市債権管理条例（平成20年飯田市条例第35号。以下「条例」という。）第5条の規定により権利を放棄したので、条例第6条の規定により下記のとおり報告する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健

## 記

- 1 放棄した債権の種類 旧市営住宅敷地の貸付料に係る債権
- 2 債権を放棄した時期 令和3年3月31日
- 3 放棄した債権の件数 118件
- 4 放棄した債権の金額 2,389,562円
- 5 債権を放棄した理由並びに当該理由ごとの債権を放棄した時期、件数及び金額

理 由	時 期	件 数	金 額
条例第5条第1号に該当	令和3年3月31日	89件	1,711,212円
条例第5条第2号に該当	令和3年3月31日	13件	304,750円
条例第5条第3号アに該当	令和3年3月31日	16件	373,600円

## 報告第21号

## 権利の放棄について（病院料金に係る債権）

飯田市債権管理条例（平成20年飯田市条例第35号。以下「条例」という。）第5条の規定により権利を放棄したので、条例第6条の規定により下記のとおり報告する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健

## 記

- 1 放棄した債権の種類 病院料金に係る債権
- 2 債権を放棄した時期 令和3年3月31日
- 3 放棄した債権の件数 19件
- 4 放棄した債権の金額 578,656円
- 5 債権を放棄した理由並びに当該理由ごとの債権を放棄した時期、件数及び金額

理 由	時 期	件 数	金 額
条例第5条第1号に該当	令和3年3月31日	19件	578,656円

## 報告第22号

## 権利の放棄について（水道料金に係る債権）

飯田市債権管理条例（平成20年飯田市条例第35号。以下「条例」という。）第5条の規定により権利を放棄したので、条例第6条の規定により下記のとおり報告する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健

## 記

- 1 放棄した債権の種類 水道料金に係る債権
- 2 債権を放棄した時期 令和3年3月31日
- 3 放棄した債権の件数 221件
- 4 放棄した債権の金額 984,588円
- 5 債権を放棄した理由並びに当該理由ごとの債権を放棄した時期、件数及び金額

理 由	時 期	件 数	金 額
条例第5条第1号に該当	令和3年3月31日	199件	660,519円
条例第5条第2号に該当	令和3年3月31日	7件	14,368円
条例第5条第3号ウに該当	令和3年3月31日	15件	309,701円

報告第23号

令和2年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第146条第2項の規定により、令和2年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書を、別紙のとおり報告する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健



## 令和2年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				
					既収入 特定財源	未収入特定財源			一般財源
						国県支出金	地方債	その他	
円	円	円	円	円	円	円	円	円	
2 総務費	1 総務管理費	地域振興住宅整備事業	31,270,000	31,270,000			28,100,000		3,170,000
		会計年度任用職員人件費	3,279,000	3,279,000		3,279,000			0
		リニア推進事業	143,017,000	143,016,671		37,640,000	33,800,000	53,584,000	17,992,671
		リニア駅周辺整備事業	429,275,000	429,275,000		229,350,000	170,500,000	17,567,000	11,858,000
		リニア代替地整備事業	252,968,000	252,967,325		56,410,000	47,900,000		148,657,325
		飯田市新生児育児応援支援金事業	3,000,000	3,000,000					3,000,000
3 民生費	1 社会福祉費	老人福祉一般経費	18,080,000	18,079,600			18,000,000		79,600
		南信濃福祉の里整備事業	7,535,000	7,535,000			7,500,000		35,000
4 衛生費	1 保健衛生費	会計年度任用職員人件費	35,073,000	35,073,000		35,073,000			0
		感染症予防接種事業	396,576,000	396,576,000		396,576,000			0
6 農林水産業費	1 農業費	国土保全対策事業	11,561,000	11,561,000			10,400,000		1,161,000
		農業水利施設保全管理整備事業	5,000,000	5,000,000		3,450,000	900,000		650,000
		国土調査事業(補助)	10,780,000	10,780,000		8,085,000			2,695,000
	2 林業費	林道舗装事業	13,570,000	13,570,000		7,296,000	5,600,000		674,000
		林道改良事業(補助)	63,739,000	63,739,000		34,317,000	27,500,000		1,922,000

款	項	事業名	金額	翌年度 繰越額	左の財源内訳				
					既収入 特定財源	未収入特定財源			一般財源
						国県支出金	地方債	その他	
円	円	円	円	円	円	円	円	円	
7 商工費	1 商工費	緊急経済対策事業	306,701,000	306,701,000		240,000,000			66,701,000
		緊急経済対策事業	2,150,000	2,150,000					2,150,000
		天龍峡活性化事業	14,536,000	14,536,000					14,536,000
		上村観光施設管理事業	1,265,000	1,265,000					1,265,000
		南信濃観光施設管理事業	9,732,000	9,732,000					9,732,000
8 土木費	2 道路橋りょう費	防災・安全交付金事業(道路整備)	50,000,000	50,000,000		25,000,000	22,500,000		2,500,000
		道整備交付金事業	40,600,000	40,600,000		20,115,000	18,100,000		2,385,000
		防災・安全交付金事業(通学路安全対策)	20,300,000	20,300,000		11,110,000	8,100,000		1,090,000
		社会資本整備総合交付金事業(道路整備)	176,350,000	176,350,000		92,877,000	74,400,000		9,073,000
		防災対策避難路整備事業	32,900,000	32,900,000			32,800,000		100,000
		市道改良事業	2,596,000	2,596,000					2,596,000
		道路自然災害防止事業	14,190,000	14,190,000			14,100,000		90,000
		橋りょう長寿命化修繕事業	194,900,000	194,900,000		107,173,000	54,600,000		33,127,000
	橋りょう耐震整備事業	12,125,000	12,125,000			12,100,000		25,000	
		3 河川費	河川自然災害防止事業	37,292,000	37,292,000			37,200,000	
	4 都市計画費	公園改修事業	748,000	748,000			700,000		48,000
9 消防費	1 消防費	水道事業会計負担金	3,584,000	3,583,580					3,583,580

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				
					既収入 特定財源	未収入特定財源			一般財源
						国県支出金	地方債	その他	
円	円	円	円	円	円	円	円	円	
10	教育費	5 社会教育費	2,232,000	2,232,000					2,232,000
11	災害復旧費	1 農林水産施設災害復旧費	農業施設等補助災害復旧事業	147,398,000	147,398,000		146,808,000	500,000	90,000
			農業施設等単独災害復旧事業	6,310,000	6,309,900	814,770		3,300,000	2,195,130
		2 公共土木施設災害復旧費	土木施設補助災害復旧事業	149,258,000	149,257,372	168,751	98,861,406	49,900,000	327,215
			土木施設単独災害復旧事業	69,991,000	69,991,000			54,300,000	15,691,000
合計			2,719,881,000	2,719,878,448	983,521	1,553,420,406	732,800,000	71,151,000	361,523,521

報告第24号

令和2年度飯田市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について

地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第150条第3項の規定により準用する同令第146条第2項の規定により、令和2年度飯田市一般会計事故繰越し繰越計算書を、別紙のとおり報告する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健

令和2年度飯田市一般会計事故繰越し繰越計算書

款	項	事業名	支出負担 行為額	左の内訳		支出負担 行為予定額	翌年度 繰越額	左の財源内訳				説明	
				支出済額	支出未済額			既収入 特定財源	未収入特定財源				一般財源
									国県支出金	地方債	その他		
10教育費	5社会教育費	恒川遺跡群保 存活用事業 (補助)	円 74,268,917	円 9,056,544	円 65,212,373	円 65,212,373	円	円 52,171,000	円 11,700,000	円	円 1,341,373	補償物件の移転 に不測の日数を 要したため。	
合 計			74,268,917	9,056,544	65,212,373	65,212,373		52,171,000	11,700,000		1,341,373		

報告第25号

令和2年度飯田市病院事業会計予算繰越計算書の報告について

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第26条第3項の規定により、令和2年度飯田市病院事業会計予算繰越計算書を、別紙のとおり報告する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健

## 令和2年度 飯田市病院事業会計予算繰越計算書

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務額 発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳		不用額	翌年度繰越額に係る繰越を要するたな卸資産の購入限度額	説明
						県補助金	過年度分損益勘定留保資金			
1 資本的支出	1 建設改良費	移動型 X線撮影装置整備事業	円 12,073,000	円 0	円 12,073,000	円 12,073,000	円 0	円 0	円 0	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国的に医療機器等の需要逼迫により、納品が遅れたため。

報告第26号

令和2年度飯田市水道事業会計予算繰越計算書の報告について

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第26条第3項の規定により、令和2年度飯田市水道事業会計予算繰越計算書を、別紙のとおり報告する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健



## 令和2年度 飯田市水道事業会計予算繰越計算書

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額に係る繰越を要するたな卸資産の購入限度額	説明
						負担金	起債	過年度損益勘定留保資金			
1水道事業 資本的支出	1建設改良費	配水管布設及び老朽管布設替工事 市道上郷108号線他上郷飯沼	円 14,300,000	円 5,400,000	円 8,900,000	円 0	円 0	円 8,900,000	円 0	円 0	リニア代替地整備の進捗に合わせるため
		配水管布設替工事 市道上郷110号線上郷飯沼	4,000,000	0	4,000,000	0	0	4,000,000	0	0	同上
		市道改良工事に伴う配水管布設替及び布設工事 市道1-31号島垣外宮ヶ洞線伊賀良大瀬木	7,000,000	0	7,000,000	0	0	7,000,000	0	0	市道改良工事の進捗に合わせるため
		配水管布設替及び布設工事 市道上郷483、484号線上郷北条	10,277,000	0	10,277,000	400,000	0	9,877,000	0	0	リニア関連道路整備の進捗に合わせるため
		県道改良工事に伴う配水管布設工事 白山町1丁目	9,000,000	3,380,000	5,620,000	400,000	0	5,220,000	0	0	県道改良工事の進捗に合わせるため
		円悟沢河川改修に伴う配水管布設替工事 曙町・白山通り3丁目	16,500,000	0	16,500,000	400,000	0	16,100,000	0	0	河川改修工事の進捗状況に合わせるため
		県道（一）新井伊那八幡（停）線道路改良工事に伴う配水管布設替工事 松尾水城	15,300,000	4,400,000	10,900,000	400,000	0	10,500,000	0	0	県道改良工事の進捗に合わせるため

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額に係る繰越を要するたな卸資産の購入限度額	説明
						負担金	起債	過年度損益勘定留保資金			
		配水管布設及び老朽管布設替工事 今宮町4丁目	円 52,800,000	円 27,370,000	円 25,430,000	円 2,000,000	円 0	円 23,430,000	円 0	円 0	地権者との連絡、調整に不測の日数を要したため
		老朽管布設替工事 今宮町1丁目	円 30,200,000	円 10,766,000	円 19,434,000	円 800,000	円 0	円 18,634,000	円 0	円 0	同上
2簡易水道事業資本的支出	1建設改良費	配水管布設工事 南信濃和田	円 24,500,000	円 9,400,000	円 15,100,000	円 0	円 0	円 15,100,000	円 0	円 0	下水道工事の進捗状況にあわせるため
		池口大島連絡管布設工事 南信濃	円 11,000,000	円 0	円 11,000,000	円 0	円 11,000,000	円 0	円 0	円 0	河川協議に不測の日数を要したため



報告第27号

令和2年度飯田市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第26条第3項の規定により、令和2年度飯田市下水道事業会計予算繰越計算書を、別紙のとおり報告する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健

## 令和2年度 飯田市下水道事業会計予算繰越計算書

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳				不用額	翌年度繰越額 に 関 わ る 繰 越 を 要 す る 棚 卸 資 産 の 購 入 限 度 額	説明	
						国庫支出金	移設補償金	起債	過年度分損益 勘定留保資金				
1資本的支出	1建設改良費	国庫補助事業に伴う起債事務費	円 200,000	円 0	円 200,000	0	円 0	200,000	円 0	円 0	円 0	国の第3次補正予算に対応する予算のため	
		防災・安全交付金事業 松尾浄化管理センターストックマネジメント設備更新実施設計業務	16,800,000	0	16,800,000	8,400,000	0	0	8,400,000	0	0	0	国の第3次補正予算に対応する予算のため
		防災・安全交付金事業 公共下水道管渠(汚水)ストックマネジメント管更生工事	80,000,000	0	80,000,000	40,000,000	0	40,000,000	0	0	0	0	国の第3次補正予算に対応する予算のため
		防災・安全交付金事業 地震対策人孔管口耐震化工事	18,000,000	0	18,000,000	9,000,000	0	9,000,000	0	0	0	0	国の第3次補正予算に対応する予算のため

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳				不用額	翌年度繰越額に関わる繰越を要する棚卸資産の購入限度額	説明
						国庫支出金	移設補償金	起債	過年度分損益勘定留保資金			
1資本的支出	1建設改良費	防災・安全交付金事業 地震対策資機材設置工事	3,000,000	0	3,000,000	1,500,000	0	0	1,500,000	0	0	国の第3次補正予算に対応する予算のため
		公共下水道人孔管口耐震化工事	12,000,000	0	12,000,000	0	0	12,000,000	0	0	0	国の第3次補正予算に対応する予算のため
		公共下水道ストックマネジメント人孔改築工事	8,200,000	0	8,200,000	0	0	0	8,200,000	0	0	国の第3次補正予算に対応する予算のため
		防災・安全交付金事業 地震対策人孔浮上防止詳細設計業務委託	11,500,000	0	11,500,000	5,500,000	0	0	6,000,000	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う労務者手配に不測の日数を要したため
		他事業関連 公共下水道管渠(汚水)布設替工事(飯田南木曽線)	13,000,000	0	13,000,000	0	0	0	13,000,000	0	0	県道整備工事が繰越となるため

款	項	事業名	予算計上額	支払義務発生額	翌年度繰越額	左の財源内訳				不用額	翌年度繰越額に関わる繰越を要する棚卸資産の購入限度額	説明
						国庫支出金	移設補償金	起債	過年度分損益勘定留保資金			
1資本的支出	1建設改良費	他事業関連 公共下水道管渠(汚水)布設替工事(市道1-31号島垣外宮ヶ洞線)	11,000,000	0	11,000,000	0	0	0	11,000,000	0	0	市道改良工事が繰越となるため
		他事業関連 公共下水道管渠(汚水)布設替工事(市道1-19号白山松川線)	1,000,000	0	1,000,000	0	723,000	0	277,000	0	0	河川整備工事が繰越となるため
		特環下水道中橋災害復旧に伴う下水道管仮設工事	45,000,000	0	45,000,000	0	0	35,500,000	9,500,000	0	0	材料調達に不測の日数を要したため
		特環下水道取付管布設工事(桐林工区)	3,000,000	0	3,000,000	0	0	0	3,000,000	0	0	工事箇所の隣接者との調整に不測の日数を要したため

報告第28号

飯田市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、飯田市土地開発公社の経営状況を説明する書類を、別紙のとおり提出する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健



令和2年度

事業報告及び決算書

飯田市土地開発公社

# 令和2年度 飯田市土地開発公社事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

## 1 事業概況

### (1) 用地の取得及び管理

リニア駅周辺整備事業における代行買収の用地取得及び恒川官衙史跡公園整備事業に伴う代替地の用地取得を行った。

### (2) 保有地の処分

座光寺上郷道路代替地、羽場大瀬木線代替地、市道1-56号万才線整備事業に伴う代替地及び飯島飯田線墓地代替地の売却を行った。

処分した総面積は1,080.96平方メートル、処分によって得られた事業収益は18,274,033円である。

## 2 財務の概況

令和2年度の収益的収入額は18,388,350円、収益的支出額は19,018,259円であり、差引629,909円が当期純損失となった。

当該損失は前期繰越準備金で補填した。

## 3 事業内容

令和2年度に行った土地の処分に係る事業は、次のとおり。

事業名	面積	処分金額
座光寺上郷道路代替地	402.98 m <sup>2</sup>	6,394,500 円
羽場大瀬木線代替地	650.65	10,735,776
市道1-56号代替地	21.83	428,757
飯島飯田線墓地代替地	5.50	715,000

## 4 監査に関する事項

(1) 令和2年4月23日 平成31年度飯田市土地開発公社事業報告及び会計決算についての監事に対する説明

(2) 令和2年11月20日 令和2年度飯田市土地開発公社事業会計中間監査

## 5 庶務事項

### (1) 理事会に関する事項

ア 令和2年5月8日 理事会

- (ア) 平成31年度飯田市土地開発公社事業報告について
- (イ) 平成31年度飯田市土地開発公社事業会計決算報告について
- (ウ) 平成31年度飯田市土地開発公社事業会計監査報告について

イ 令和2年12月17日 理事会

- (ア) 令和2年度飯田市土地開発公社事業中間報告について
- (イ) 令和2年度飯田市土地開発公社事業会計中間監査報告について

ウ 令和3年3月18日 理事会

- (ア) 令和2年度飯田市土地開発公社事業変更計画(案)及び事業会計補正予算第1号(案)について
- (イ) 令和3年度飯田市土地開発公社事業計画(案)及び事業会計予算(案)について

### (2) 役員に関する事項

ア	令和2年4月1日	細田 仁	理事に再任
		塚平 賢志	理事に就任
		土屋 敏美	理事に就任
イ	令和2年12月16日	村澤 好保	理事を辞任
ウ	令和2年12月17日	本庄 良雄	理事に就任
エ	令和2年12月31日	木下 悦夫	理事を辞任
オ	令和3年1月1日	高田 修	理事に就任
カ	令和3年3月31日	北沢 武人	理事を辞任
		遠山 昌和	理事を辞任

## 令和2年度 飯田市土地開発公社事業会計

### 1 収益的收入及び支出

#### (1) 収 入

区 分	予 算 額		
	当初予算額	補正予算額	合 計
第1款 事業収益	128,000,000	△ 109,720,000	18,280,000
第1項 公有地取得事業収益	128,000,000	△ 109,720,000	18,280,000
第2項 土地造成事業収益	0	0	0
第3項 関連施設整備事業収益	0	0	0
第2款 事業外収益	100,000	△ 20,000	80,000
第1項 受 取 利 息	80,000	△ 10,000	70,000
第2項 雑 収 益	20,000	△ 10,000	10,000
第3款 特別利益	100,000	△ 100,000	0
第1項 前期損益修正益	100,000	△ 100,000	0
収 入 合 計	128,200,000	△ 109,840,000	18,360,000

#### (2) 支 出

区 分	予 算		
	当初予算額	補正予算額	流用増減額
第1款 事業原価	124,000,000	△ 106,310,000	0
第1項 公有地取得事業原価	124,000,000	△ 106,310,000	0
第2項 土地造成事業原価	0	0	0
第3項 関連施設整備事業原価	0	0	0
第2款 販売費及び一般管理費	1,770,000	△ 510,000	100,000
第1項 販売費及び一般管理費	1,770,000	△ 510,000	100,000
第3款 事業外費用	20,000	0	0
第1項 支 払 利 息	10,000	0	0
第2項 消 費 税	0	0	0
第3項 雑 損 失	10,000	0	0
第4款 特別損失	200,000	△ 200,000	0
第1項 前期損益修正損	100,000	△ 100,000	0
第2項 土地評価損	100,000	△ 100,000	0
第5款 予 備 費	100,000	0	△ 100,000
第1項 予 備 費	100,000	0	△ 100,000
支 出 合 計	126,090,000	△ 107,020,000	0

# 決算報告書

(単位：円)

決 算 額	予算現額に比べ 決算額の増減	備 考
18,274,033	△ 5,967	
18,274,033	△ 5,967	
0	0	
0	0	
114,317	34,317	
68,797	△ 1,203	
45,520	35,520	
0	0	
0	0	
18,388,350	28,350	

(単位：円)

額	決 算 額	不 用 額	備 考
合 計			
17,690,000	17,682,180	7,820	
17,690,000	17,682,180	7,820	
0	0	0	
0	0	0	
1,360,000	1,336,079	23,921	
1,360,000	1,336,079	23,921	
20,000	0	20,000	
10,000	0	10,000	
0	0	0	
10,000	0	10,000	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
19,070,000	19,018,259	51,741	

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 収入

区 分	予 算 額			合 計
	当初予算額	補正予算額	継続費等の繰越額に係る財源充当額	
第1款 資本的収入	1,446,500,000	△299,930,000	0	1,146,570,000
第1項 借入金	1,446,500,000	△299,930,000	0	1,146,570,000
収入合計	1,446,500,000	△299,930,000	0	1,146,570,000

### (2) 支出

区 分	予 算			小 計
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	
第1款 資本的支出	1,558,000,000	53,150,000	0	1,611,150,000
第1項 公有地取得事業費	1,150,000,000	54,650,000	406,500,000	1,611,150,000
第2項 土地造成事業費	250,000,000	0	△250,000,000	0
第3項 関連施設整備事業費	60,000,000	0	△60,000,000	0
第4項 固定資産取得費	500,000	△500,000	0	0
第5項 借入金返還金	96,500,000	0	△96,500,000	0
第6項 予備費	1,000,000	△1,000,000	0	0
支出合計	1,558,000,000	53,150,000	0	1,611,150,000

(単位：円)

決 算 額	予算現額に比べ 決算額の増減	備 考
994,885,589	△151,684,411	
994,885,589	△151,684,411	
994,885,589	△151,684,411	

(単位：円)

額		決 算 額	事業費の 翌年度 繰越額	不 用 額	備 考
前年度事業 費の繰越額	合 計				
0	1,611,150,000	1,395,189,952	0	215,960,048	
0	1,611,150,000	1,395,189,952	0	215,960,048	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	1,611,150,000	1,395,189,952	0	215,960,048	

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 400,304,363円は、損益勘定留保資金で補填した。

# 令和2年度飯田市土地開発公社事業損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

1 事業収益		
(1) 公有地取得事業収益	18,274,033	
(2) 土地造成事業収益	0	
(3) 関連施設整備事業収益	0	18,274,033
	<hr/>	
2 事業原価		
(1) 公有地取得事業原価	17,682,180	
(2) 土地造成事業原価	0	
(3) 関連施設整備事業原価	0	17,682,180
	<hr/>	<hr/>
事業総利益		591,853
3 販売費及び一般管理費		1,336,079
事業利益		<hr/>
		△ 744,226
4 事業外収益		
(1) 受取利息	68,797	
(2) 雑収益	45,520	114,317
	<hr/>	<hr/>
5 事業外費用		
(1) 支払利息	0	
(2) 消費税	0	
(3) 雑損失	0	0
	<hr/>	<hr/>
経常利益		△ 629,909
6 特別利益		
(1) 前期損益修正益	0	0
	<hr/>	
7 特別損失		
(1) 前期損益修正損	0	
(2) 土地評価損	0	0
	<hr/>	
当期純利益		<hr/> <hr/>
		△ 629,909



# 販売費及び一般管理費明細表

令和2年度

(単位：円)

項	目	節	金額	備考	
1 販売費 及び一般 管理費	1 人件費		136,900		
		報酬	136,900	理事会等出席報酬	
		法定 福利費	0		
	2 経費			1,199,179	
		需用費		32,200	消耗品費
		役員費		2,480	通信運搬費
		委託料		640,156	公社会計ソフト保守、保有地管理費、嘱託登記
		公租公課		187,000	法人県民税、法人市民税、他
		減価 却費		337,343	備品 142,943 ソフトウェア 194,400
		資産 減耗費		0	
販売費及び一般管理費計			1,336,079		

## 令和2年度準備金整理

1 前期繰越準備金	425,079,946 円
2 当期純利益	△ 629,909 円
準備金合計	424,450,037 円

公有地の拡大の推進に関する法律第18条第5項の規定により、次のとおり整理する。

次期繰越準備金	424,450,037 円
---------	---------------

令和2年度飯田市土地開発公社事業貸借対照表  
(令和3年3月31日)

(単位：円)

		【 資 産 の 部 】	
1	流動資産		
(1)	現金及び預金	376,481,910	
(2)	事業未収金	39,000	
(3)	公有用地	1,387,779,202	
(4)	代行用地	0	
(5)	代替地	50,672,621	
(6)	完成土地等	0	
(7)	前払費用	0	
(8)	その他の流動資産	0	
	流動資産合計	0	1,814,972,733
2	固定資産		
(1)	有形固定資産		
ア	建物又はその付属設備	0	
	減価償却累計額	0	0
イ	車両その他運搬具	0	
	減価償却累計額	0	0
ウ	工具、器具及び備品	1,368,510	
	減価償却累計額	1,368,503	7
		7	
(2)	無形固定資産		
	ソフトウェア	113,400	
	固定資産合計	0	113,407
	資産合計	0	1,815,086,140
		【 負 債 の 部 】	
1	流動負債		
(1)	未払金	392,750,514	
(2)	短期借入金	0	
(3)	未払費用	0	
	流動負債合計	0	392,750,514
2	固定負債		
(1)	長期借入金	994,885,589	
	固定負債合計	994,885,589	994,885,589
	負債合計	994,885,589	1,387,636,103
		【 資 本 の 部 】	
1	資本金		
(1)	基本財産	3,000,000	
	資本金合計	3,000,000	3,000,000
2	準備金		
(1)	前期繰越準備金	425,079,946	
(2)	当期純利益	△ 629,909	
	準備金合計	424,450,037	424,450,037
	資本合計	427,450,037	427,450,037
	負債資本合計	427,450,037	1,815,086,140

# 飯田市土地開発公社財産目録

(令和3年3月31日)

区分	摘 要	金 額(円)
資 産	1 流動資産	1,814,972,733
	(1) 現金及び預金	376,481,910
	普通預金	153,481,910
	ア 株式会社八十二銀行 飯田支店	127,567,577
	イ 飯田信用金庫 本店	25,606,385
	ウ みなみ信州農業協同組合 伊賀良支所	307,948
	定期預金	223,000,000
	ア 株式会社八十二銀行 飯田支店	73,000,000
	イ 飯田信用金庫 本店	100,000,000
	ウ 長野銀行 飯田支店	50,000,000
	(2) 事業未収金	39,000
	(3) 公有用地	1,387,779,202
	ア 用地費	379,138,454
	イ 補償費	1,007,722,274
	ウ 造成工事費	0
	エ 用買諸経費	0
	オ 支払利息	918,474
	(4) 代替地	50,672,621
	ア 用地費	50,672,621
	イ 補償費	0
	ウ 造成工事費	0
	エ 用買諸経費	0
	オ 支払利息	0
	(5) 完成土地及び未成土地（土地造成事業の用地）	0
	(6) 前払費用	0
	2 固定資産	113,407
	(1) 有形固定資産	7
ア 建物又はその付属設備	0	
イ 車両その他運搬具	0	
ウ 工具器具及び備品	7	
(2) 無形固定資産	113,400	
ソフトウェア	113,400	
資 産 合 計	1,815,086,140	
負 債	1 流動負債	392,750,514
	(1) 未払金	392,750,514
	(2) 短期借入金	0
	(3) 未払費用 未払利息	0
	2 固定負債	994,885,589
	(1) 長期借入金	994,885,589
	ア 株式会社八十二銀行 飯田支店	0
	イ 飯田信用金庫 本店	0
	ウ みなみ信州農協 伊賀良支所	994,885,589
	負 債 合 計	1,387,636,103

# 令和2年度飯田市土地開発公社キャッシュフロー計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

I 事業活動によるキャッシュフロー	
公有地取得事業収入	29,224,444
その他事業収入	45,520
公有地取得事業支出	△ 1,002,440,264
その他事業支出	0
人件費支出	△ 136,900
その他の業務支出	△ 861,570
小計	<u>△ 974,168,770</u>
利息の受取額	68,797
利息の支払額	<u>0</u>
事業活動によるキャッシュフロー	<u>△ 974,099,973</u>
II 投資活動によるキャッシュフロー	
投資有価証券の取得による支出	0
投資有価証券の売却による収入	0
有形固定資産の取得による支出	0
有形固定資産の売却による収入	0
無形固定資産の取得による支出	0
無形固定資産の売却による収入	0
投資活動によるキャッシュフロー	<u>0</u>
III 財務活動によるキャッシュフロー	
短期借入金による収入	0
短期借入金返済による支出	0
長期借入金による収入	994,885,589
長期借入金返済による支出	0
財務活動によるキャッシュフロー	<u>994,885,589</u>
IV 現金及び現金同等物増減額	<u>20,785,616</u>
V 現金及び現金同等物期首残高	<u>355,696,294</u>
VI 現金及び現金同等物期末残高	<u><u>376,481,910</u></u>

## 注記事項

### I 重要な会計方針

#### 1 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- (1) 公有用地  
個別法に基づく原価法によっております。
- (2) 代行用地  
個別法に基づく原価法によっております。
- (3) 代替地  
個別法に基づく原価法によっております。

#### 2 固定資産の減価償却の方法

定額法によっております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

#### 3 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

### II 貸借対照表の注記

#### 現金及び預金

普通預金	153,481,910
定期預金（3ヶ月以上）	223,000,000
	<hr/>
	376,481,910

### III 損益計算書の注記

注記事項なし

### IV キャッシュフロー計算書の注記

現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

資金期末残高	376,481,910 円
現金及び預金勘定	376,481,910 円（3ヶ月以上の定期預金を含む。）

## 令和2年度飯田市土地開発公社事業会計監査報告

令和2年度飯田市土地開発公社事業会計の監査の結果、元帳及び証拠書類は正確であり、決算書の計数は令和2年度の経営成績及び同年度末における財務状態を適正表示しているものと認めた。

令和3年4月28日

監 事 牧 野 内 功

監 事 宮 島 俊 太 郎

## 比較損益計算書

	当 期(円)	前 期(円)	増 減(円)	増減率(%)
[事 業 収 益]	18,274,033	26,368,436	△ 8,094,403	△ 30.7
公有地取得事業収益	18,274,033	26,368,436	△ 8,094,403	△ 30.7
土地造成事業収益	0	0	0	0.0
関連施設整備事業収益	0	0	0	0.0
[事 業 原 価]	17,682,180	25,600,771	△ 7,918,591	△ 30.9
公有地取得事業原価	17,682,180	25,600,771	△ 7,918,591	△ 30.9
土地造成事業原価	0	0	0	0.0
関連施設整備事業原価	0	0	0	0.0
(事業総利益)	591,853	767,665	△ 175,812	△ 22.9
[販売費及び一般管理費]	1,336,079	816,784	519,295	63.6
(事業利益・損失)	△ 744,226	△ 49,119	△ 695,107	1,415.1
[事 業 外 収 益]	114,317	91,852	22,465	24.5
[事 業 外 費 用]	0	0	0	0.0
(経常利益・損失)	△ 629,909	42,733	△ 672,642	—
[特 別 利 益]	0	0	0	0.0
[特 別 損 失]	0	0	0	0.0
土地評価損	0	0	0	0.0
(当期純利益(損失))	△ 629,909	42,733	△ 672,642	—



## 比較販売費及び一般管理費

科 目	当 期	前 期	増 減	増減率
	円	円	円	%
人件費	136,900	136,900	0	0.0
報酬	136,900	136,900	0	0.0
法定福利費	0	0	0	0.0
経費	1,199,179	679,884	519,295	76.4
旅費	0	0	0	0.0
需用費	32,200	14,979	17,221	115.0
役務費	2,480	5,027	△ 2,547	△ 50.7
委託料	640,156	117,720	522,436	443.8
使用料及び 賃借料	0	0	0	0.0
負担金補助 及び交付金	0	0	0	0.0
公租公課	187,000	71,000	116,000	163.4
減価償却費	337,343	471,158	△ 133,815	△ 28.4
資産減耗費	0	0	0	0.0
合 計	1,336,079	816,784	519,295	63.6

## 比較貸借対照表

## 資産の部

科目	当期(円)	前期(円)	増減(円)	増減率(%)
[流動資産]	1,814,972,733	427,629,756	1,387,342,977	324.4
現金及び預金	376,481,910	355,696,294	20,785,616	5.8
事業未収金	39,000	10,989,411	△ 10,950,411	△ 99.6
公有用地	1,387,779,202	0	1,387,779,202	皆増
代行用地	0	0	0	0.0
代替地	50,672,621	60,944,051	△ 10,271,430	△ 16.9
完成土地	0	0	0	0.0
前払費用	0	0	0	0.0
その他流動資産	0	0	0	0.0
[固定資産]	113,407	450,750	△ 337,343	△ 74.8
有形固定資産	7	142,950	△ 142,943	△ 100.0
建物又はその付属設備	0	0	0	0.0
車両及び運搬具	0	0	0	0.0
工具器具及び備品	7	142,950	△ 142,943	△ 100.0
無形固定資産	113,400	307,800	△ 194,400	△ 63.2
ソフトウェア	113,400	307,800	△ 194,400	△ 63.2
資産の部合計	1,815,086,140	428,080,506	1,387,005,634	324.0

## 負債の部

科目	当期(円)	前期(円)	増減(円)	増減率(%)
[流動負債]	392,750,514	560	392,749,954	70133920.4
未払金	392,750,514	560	392,749,954	70133920.4
短期借入金	0	0	0	0.0
未払費用	0	0	0	0.0
[固定負債]	994,885,589	0	994,885,589	皆増
長期借入金	994,885,589	0	994,885,589	皆増
負債の部合計	1,387,636,103	560	1,387,635,543	247792061.3

## 資本の部

科目	当期(円)	前期(円)	増減(円)	増減率(%)
[資本金]	3,000,000	3,000,000	0	0.0
基本財産	3,000,000	3,000,000	0	0.0
[準備金]	424,450,037	425,079,946	△ 629,909	△ 0.1
繰越準備金	425,079,946	425,037,213	42,733	0.0
純利益(損失)	△ 629,909	42,733	△ 672,642	—
資本の部合計	427,450,037	428,079,946	△ 629,909	△ 0.1
負債・資本の部合計	1,815,086,140	428,080,506	1,387,005,634	324.0

令和2年度

決算附属資料

飯田市土地開発公社



令和2年度 事業収益明細表

(単位：円)

科 目		金 額	摘 要
公有地取得事業収益	代替地売却収益	18,274,033	座光寺上郷道路代替地 6,394,500
			羽場大瀬木線代替地 10,735,776
			市道1-56号万才線代替地 428,757
			飯島飯田線墓地代替地 715,000
合 計		18,274,033	

令和2年度 事業原価明細表

(単位：円)

科 目		金 額	摘 要
公有地取得事業原価	代替地売却原価	17,682,180	座光寺上郷道路代替地 6,205,500
			羽場大瀬木線代替地 10,735,776
			市道1-56号万才線代替地 416,268
			飯島飯田線墓地代替地 324,636
合 計		17,682,180	

## 令和2年度

資産区分	期首残高		当期増加高				
	面積(m <sup>2</sup> )	金額(円)	面積(m <sup>2</sup> )	用地費(円)	補償費(円)	工事費(円)	諸経費(円)
リニア駅周辺整備事業 リニア駅前多目的交流広場	0.00	0	7,072.77	231,296,471	480,363,238	0	0
リニア駅周辺整備事業 リニア駅前駐車場	0.00	0	2,187.47	68,896,219	300,498,857	0	0
リニア駅周辺整備事業 リニア駅前停車場線	0.00	0	1,384.15	78,945,764	226,860,179	0	0
合 計	0.00	0.00	10,644.38	379,138,454	1,007,722,274	0	0

## 令和2年度

資産区分	期首残高		当期増加高					
	面積(m <sup>2</sup> )	金額(円)	面積(m <sup>2</sup> )	用地費(円)	補償費(円)	工事費(円)	諸経費(円)	
イ	県道・市道改良事業代替地	2,737.02	43,029,177	494.05	7,410,750	0	0	0
	県道・市道墓地代替地	3,864.48	2,304,499	0.00	0	0	0	0
	計	6,601.50	45,333,676	494.05	7,410,750	0	0	0
ロ	県道・市道改良事業代替地	1,141.13	15,610,375	1,023.92	2	0	0	0
	県道・市道墓地代替地	536.16	0	0.00	0	0	0	0
	計	1,677.29	15,610,375	1,023.92	2	0	0	0
合 計	8,278.79	60,944,051	1,517.97	7,410,752	0	0	0	

(注)イは取得原価相当による再取得等が見込まれる代替地、ロはイ以外の代替地。

公有用地明細表

		当期減少高		期末残高		摘要
支払利息(円)	計(円)	面積(m <sup>2</sup> )	金額(円)	面積(m <sup>2</sup> )	金額(円)	
451,035	712,110,744	0.00	0	7,072.77	712,110,744	
229,553	369,624,629	0.00	0	2,187.47	369,624,629	
237,886	306,043,829	0.00	0	1,384.15	306,043,829	
918,474	1,387,779,202	0.00	0	10,644.38	1,387,779,202	

代替地明細表

		当期減少高			期末残高		摘要
支払利息(円)	計(円)	減少高		評価減	期末残高		
		面積(m <sup>2</sup> )	金額(円)	金額(円)	面積(m <sup>2</sup> )	金額(円)	
0	7,410,750	1,448.73	6,621,770		1,782.34	43,818,157	
0	0	5.50	324,636		3,858.98	1,979,863	
0	7,410,750	1,454.23	6,946,406		5,641.32	45,798,020	
0	2	650.67	10,735,776	0	1,514.38	4,874,601	
0	0	0.00	0	0	536.16	0	
0	2	650.67	10,735,776	0	2,050.54	4,874,601	
0	7,410,752	2,104.90	17,682,182	0	7,691.86	50,672,621	

飯田市土地開発公社

資産の種類	取得原価 A	当期増加額 B	当期減少額 C	期末残高 (A + B - C)
建物又はその付属設備	0	0	0	0
車両及び運搬具	0	0	0	0
器具及び備品	1,368,510	0	0	1,368,510
計	1,368,510	0	0	1,368,510

内 訳

資産の種類	取得原価 A	当期増加額 B	当期減少額 C	期末残高 (A + B - C)
机(両袖)	31,500	0	0	31,500
事務用椅子	38,850	0	0	38,850
カラーレーザープリンタ	304,560	0	0	304,560
デスクトップパソコン	162,000	0	0	162,000
デスクトップパソコン	162,000	0	0	162,000
現地事務所 レーザー式複合機	496,800	0	0	496,800
デスクトップパソコン	172,800	0	0	172,800

飯田市土地開発公社

資産の種類	取得原価 A	当期増加額 B	当期減少額 C	当期償却額 D
ソフトウェア	972,000	0	0	194,400
計	972,000	0	0	194,400



有形固定資産明細表

令和3年3月31日現在 (単位：円)

当期減価償却額	減価償却累計額	差引期末残高	備考
0	0	0	
0	0	0	
142,943	1,368,503	7	
142,943	1,368,503	7	

当期減価償却額	減価償却累計額	差引期末残高	備考
0	31,499	1	
385	38,849	1	
0	304,559	1	
0	161,999	1	
0	161,999	1	
99,359	496,799	1	
43,199	172,799	1	

無形固定資産明細表

令和3年3月31日現在 (単位：円)

償却累計額 E	期末残高 A + B - C - E	備考
858,600	113,400	
858,600	113,400	

令和2年度 現金及び預金明細表

(単位：円)

科目	種類	金額(円)	摘要
現金		0	
預金	当座	0	
	普通	153,481,910	八十二銀行飯田支店 127,567,577
			飯田信用金庫本店 25,606,385
			みなみ信州農業協同組合 伊賀良支所 307,948
	通知	0	
	定期	223,000,000	八十二銀行飯田支店 73,000,000
			飯田信用金庫本店 100,000,000
長野銀行飯田支店 50,000,000			
計		376,481,910	

令和2年度 資本金明細表

(単位：円)

区分	出資団体	出資額	摘要
資本金	飯田市	3,000,000	

## 令和2年度 長期借入金明細表

(単位：円)

借入先	利率	期首残高	当期増加高	当期減少高	期末残高
みなみ信州 農業協同組合 伊賀良支所	0.28%	0	179,649,902	0	179,649,902
	0.30%	0	51,834,631	0	51,834,631
	0.31%	0	7,743,230	0	7,743,230
	0.27%	0	718,975,111	0	718,975,111
	0.29%	0	28,020,000	0	28,020,000
	0.35%	0	8,662,715	0	8,662,715
計	/	0	994,885,589	0	994,885,589

令和3年度

事業計画及び予算書

飯田市土地開発公社

# 令和3年度飯田市土地開発公社事業計画

令和3年度飯田市土地開発公社の事業計画は、次のとおりとする。

## 1 用地取得計画

### (1) 公有地取得事業

事業名等	主管部課等	区分	取得予定面積	予定金額	摘要
公有用地取得事業	リニア推進部ほか	用地等	22,000 <sup>m<sup>2</sup></sup>	1,820,000 <sup>千円</sup>	用地・補償費 1,800,000 <sup>千円</sup> 造成及びその他経費 20,000
代替地取得事業	リニア推進部ほか	用地等	6,000 <sup>m<sup>2</sup></sup>	145,000 <sup>千円</sup>	用地 130,000 <sup>千円</sup> 造成及びその他経費 15,000
計	—	—	28,000	1,965,000	—

### (2) 土地造成事業

事業名等	区分	取得予定面積	予定金額	摘要
宅地造成事業	用地及び造成	10,000 <sup>m<sup>2</sup></sup>	98,000 <sup>千円</sup>	用地 80,000 <sup>千円</sup> 造成及びその他経費 18,000
計	—	10,000	98,000	—

## 2 保有地売却計画

### (1) 公有地取得事業

事業名等	売却先等	区分	売却予定面積	売却予定金額	摘要
公有用地取得事業	飯田市	用地等	580 <sup>m<sup>2</sup></sup>	116,020 <sup>千円</sup>	
代替地取得事業	事業関係者ほか	用地等	4,000 <sup>m<sup>2</sup></sup>	80,000 <sup>千円</sup>	
計	—	—	4,580	196,020	—

### (2) 土地造成事業

事業名等	売却先等	売却予定面積	売却予定金額	摘要
宅地造成事業	事業者ほか	10,000 <sup>m<sup>2</sup></sup>	100,000 <sup>千円</sup>	
計	—	10,000	100,000	—

# 令和3年度飯田市土地開発公社事業会計予算

(総 則)

第1条 令和3年度飯田市土地開発公社の事業会計予算は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出)

第2条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収		入
第1款	事業収益	296,020 千円
第1項	公有地取得事業収益	196,020 千円
第2項	土地造成事業収益	100,000 千円
第2款	事業外収益	60 千円
第1項	受 取 利 息	40 千円
第2項	雑 収 益	20 千円
第3款	特別利益	100 千円
第1項	前期損益修正益	100 千円
収 入 合 計		296,180 千円
支		出
第1款	事業原価	290,800 千円
第1項	公有地取得事業原価	192,800 千円
第2項	土地造成事業原価	98,000 千円
第2款	販売費及び一般管理費	1,770 千円
第1項	販売費及び一般管理費	1,770 千円
第3款	事業外費用	20 千円
第1項	支 払 利 息	10 千円
第2項	消 費 税	0 千円
第3項	雑 損 失	10 千円
第4款	特別損失	200 千円
第1項	前期損益修正損	100 千円
第2項	土 地 評 価 損	100 千円
第5款	予備費	100 千円
第1項	予 備 費	100 千円
支 出 合 計		292,890 千円
(収益的収入支出差引額)		3,290 千円)

(資本的収入及び支出)

第3条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額314,500千円は、損益勘定留保資金で補填するものとする。)

収		入
第1款	資本的収入	1,959,000 千円
第1項	借入金	1,959,000 千円
収入合計		1,959,000 千円
支		出
第1款	資本的支出	2,273,500 千円
第1項	公有地取得事業費	1,965,000 千円
第2項	土地造成事業費	98,000 千円
第3項	固定資産取得費	500 千円
第4項	借入金返還金	209,000 千円
第5項	予備費	1,000 千円
支出合計		2,273,500 千円

(借入金)

第4条 飯田市が債務保証する長期借入金又は短期借入金の限度額は、4,000,000千円と定める。

(予算の弾力運用)

第5条 業務量の増加により業務のため直接必要な経費に不足を生じた場合は、支出の予定額を超えて、増加する収入に相当する金額を支出することができるものとする。

(支出の特例)

第6条 現金の支出を伴わない経費等で必要がある場合は、支出の予定額を超えて支出できるものとする。

令和3年3月18日提出

飯田市土地開発公社  
理事長 高田 修





報告第29号

飯田清掃株式会社の経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、飯田清掃株式会社の経営状況を説明する書類を、別紙のとおり提出する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健

# 決算報告書

第50期

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

飯田清掃株式会社

## 事 業 報 告

第50期(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)の事業の概要について、次のとおり報告します。

飯田清掃株式会社の主な事業として、し尿のくみ取り、浄化槽の清掃及び保守点検管理の代行などを行っています。

飯田市からは農業集落排水処理施設管理業務を共同企業体として受託し、浄化槽パトロール、排水設備工事完了調査、路上美化業務なども受託しました。民間会社からは浄化槽保守点検業務、長野県浄化槽協会からは浄化槽法定検査業務を受託しました。

飯田市の皆水洗化事業により、当社の主要業務である「し尿くみ取り」は年々減少しており、くみ取り本数は、5年前(第46期)と比較すると76.0%、前期と比較しても91.3%と減少しています。特に50期はコロナ禍により観光等の諸行事が大きく影響を受け、各種イベント等の中止などにより仮設トイレや観光施設のし尿くみ取りが大きく減少しました。

し尿くみ取り業務に代わる「浄化槽清掃業務」は、浄化槽法で年1回の浄化槽清掃が定められ、法定検査での指導も強化されましたが、市内の合併浄化槽の清掃基数は全体の約1/3に留まっています。今後も水環境を守るためにも、浄化槽清掃が法律の規定どおり実施されるよう関係機関に働きかけていきます。

51期においても、し尿くみ取りが新型コロナウイルス感染症の影響を受け、また浄化槽保守管理業務委託なども減少しております。そのため今後も、状況を判断する中で、会社の健全な経営に向け、事業の見直し及び新規業務の模索を行い、一層の経営努力に取り組んで参ります。

(参考) 主要事業年次別営業推移 (金額は、消費税込み金額)

区 分	第46期 (平成28年度)	第47期 (平成29年度)	第48期 (平成30年度)	第49期 (令和元年度)	第50期 (令和2年度)
し尿くみ 取り収益	493,976本 96,432,252円	464,359本 90,641,661円	436,419本 85,193,361円	410,956本 81,221,192円	375,356本 75,164,560円
浄 化 槽 清 掃 収 益	1,251基 67,013,520円	1,326基 70,292,102円	1,462基 73,423,784円	1,334基 73,020,210円	1,404基 74,412,820円
浄化槽保守 点 検 収 益	242基 8,116,344円	239基 8,140,294円	237基 8,140,294円	238基 8,233,961円	250基 8,280,580円
浄化槽パト ロール収益	1,392基 2,797,921円	1,394基 2,801,940円	1,400基 2,814,000円	691基 1,402,670円	300基 615,000円
排水設備工 事完了調査 受 託 収 益	512件 1,996,803円	529件 2,063,100円	484件 1,887,600円	379件 1,492,240円	500件 1,985,000円
市 補 助 金	0円	0円	0円	0円	0円
主 要 事 業 合 計	176,356,840円	173,939,097円	171,459,039円	165,370,273円	160,457,960円
当 期 利 益	15,473,046円	23,259,884円	21,832,874円	17,784,883円	15,153,524円
くみ取り1 本	@195円	@195円	@195円	前期@195円 後期@200円	@200円
浄化槽清掃 1本	@226円	@226円	@226円	前期@226円 後期@230円	@230円

## 当社の概要

### (1) 株式の状況

(令和3年3月31日現在)

株主名	持株数	備考
飯田市	2,266株	
篠田喜代志	15株	
計	2,281株	

### (2) 役員の状況

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	備考
取締役 (2名)	佐藤健	代表取締役
	篠田喜代志	専務取締役
監査役 (2名)	西尾安廣	
	菅沼良收	

### (3) 従業員の状況

(令和3年3月31日現在)

職種	人数	摘要
現場従業員	12名(3名)	男子 平均年令 47歳0ヶ月
事務員	2名(1名)	女子 平均年令 55歳1ヶ月
計	14名(4名)	従業員の平均在職年数 13年3ヶ月

( ) 内は臨時職員の数

(4) 車両の状況 (令和3年3月31日現在)

車 種	トン数	台 数	備 考
バキューム車4,300	5トン	1台	
バキューム車3,400 から 3,600まで	4トン	5台	
バキューム車3,600	3.5トン	1台	
バキューム車3,000	3トン	1台	
バキューム車2,700	2トン	2台	
軽バン		3台	浄化槽管理、下水道検査車
軽トラック		1台	
保有車両 計		14台	

廃車車両 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)		
バキューム車	5トン	1台
軽バン		1台
購入車両 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)		
バキューム車	5トン	1台

## 貸借対照表

飯田清掃株式会社

令和3年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
<b>【 流 動 資 産 】</b>	<b>【 216,735,831 】</b>	<b>【 流 動 負 債 】</b>	<b>【 62,470,543 】</b>
現金及び預金	195,183,188	未払金	6,314,817
売掛金	7,632,340	前受金	52,509,700
未収入金	9,603,145	預り金	570,026
前払費用	4,317,158	法人税等充当金	3,076,000
貸倒引当金	0	<b>負 債 の 部 計</b>	<b>62,470,543</b>
<b>【 固 定 資 産 】</b>	<b>【 144,750,368 】</b>		
（有形固定資産）	（ 93,119,304 ）		
建物	54,989,070		
建物付属設備	10,603,221		
構築物	5,916,810		
機械装置	11,151,905		
車両運搬具	79,371,561		
工具器具備品	6,157,261		
土地	46,587,904		
一括償却資産	146,668		
減価償却累計額	△125,805,096		
（無形固定資産）	（ 548,238 ）		
電話加入権	111,845		
ソフトウェア	436,393		
（投資その他の資産）	（ 51,082,826 ）		
投資有価証券	20,000,000		
長期前払費用	4,673,024		
保証金	40,000		
保険積立金	26,369,802		
<b>【 繰 延 資 産 】</b>	<b>【            】</b>		
下水道受益者負担金			
<b>資 産 の 部 計</b>	<b>361,486,199</b>	<b>純 資 産 の 部</b>	
		<b>【 株 主 資 本 】</b>	<b>【 299,015,656 】</b>
		[ 資 本 金 ]	[ 22,810,000 ]
		[ 利 益 剰 余 金 ]	[ 276,205,656 ]
		（その他の利益剰余金）	（ 276,205,656 ）
		別 途 積 立 金	40,000,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	236,205,656
		（うち当期純利益）	（ 15,153,524 ）
		<b>純 資 産 の 部 計</b>	<b>299,015,656</b>
		<b>負 債 ・ 純 資 産 の 部 計</b>	<b>361,486,199</b>

# 損 益 計 算 書

自 令和2年4月1日

飯田清掃株式会社

至 令和3年3月31日

科 目	金	額
		円
<b>【売 上 高】</b>		
汲取収益	68,331,418	
浄化槽収益	67,648,020	
保守点検収益	7,520,555	
浄化槽パトロール収益	559,090	
排水工事調査受託収益	1,804,546	
法定検査収益	13,320,455	
農集管理売上	7,420,000	
保守点検受託収益	4,112,500	
浄化槽事務手数料	1,154,255	
路上美化業務	1,949,183	173,820,022
<b>【売 上 原 価】</b>		
当期製品製造原価	124,775,196	
合 計	124,775,196	124,775,196
売上総利益		49,044,826
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		35,096,095
営業利益		13,948,731
<b>【営業外収益】</b>		
受取利息	182,542	
雑収入	8,501,824	8,684,366
<b>【営業外費用】</b>		
貸倒損失	54,406	54,406
経常利益		22,578,691
<b>【特 別 利 益】</b>		
固定資産売却益	1,045,453	
貸倒引当金戻入	29,380	1,074,833
税引前当期純利益		23,653,524
法人税等充当額		8,500,000
当期純利益		15,153,524

# 比 較 貸 借 対 照 表

飯田清掃株式会社

令和3年3月31日現在

資 産 の 部				
科 目	当 期 (50期)	前 期 (49期)	増 減	前 期 比
	円	円	円	%
<b>【 流 動 資 産 】</b>	<b>【 216,735,831 】</b>	<b>【 208,998,536 】</b>	<b>【 7,737,295 】</b>	<b>【 103.7 】</b>
現金及び預金	195,183,188	187,080,986	8,102,202	104.3
売掛金	7,632,340	7,680,224	△ 47,884	99.4
未収入金	9,603,145	10,539,268	△ 936,123	91.1
前払費用	4,317,158	3,727,438	589,720	115.8
貸倒引当金	0	△ 29,380	29,380	-
<b>【 固 定 資 産 】</b>	<b>【 144,750,368 】</b>	<b>【 138,797,584 】</b>	<b>【 5,952,784 】</b>	<b>【 104.3 】</b>
(有形固定資産)	( 93,119,304 )	( 86,816,885 )	( 6,302,419 )	( 107.3 )
建物	54,989,070	54,989,070	0	100.0
建物付属設備	10,603,221	10,603,221	0	100.0
構築物	5,916,810	5,916,810	0	100.0
機械装置	11,151,905	11,151,905	0	100.0
車両運搬具	79,371,561	76,463,352	2,908,209	103.8
工具器具備品	6,157,261	6,157,261	0	100.0
土地	46,587,904	46,587,904	0	100.0
一括償却資産	146,668	168,667	△ 21,999	87.0
減価償却累計額	△121,805,096	△125,221,305	3,416,209	102.8
(無形固定資産)	( 548,238 )	( 888,333 )	( △ 340,095 )	( 61.7 )
電話加入権	111,845	111,845	0	100.0
ソフトウェア	436,393	776,488	△ 340,095	56.2
(投資その他の資産)	( 51,082,826 )	( 51,092,366 )	( △ 9,540 )	( 100.0 )
投資有価証券	20,000,000	20,000,000	0	100.0
長期前払費用	4,673,024	5,365,324	△ 692,300	87.1
保証金	40,000	40,000	0	100.0
保険積立金	26,369,802	25,687,042	682,760	102.7
<b>【 繰 延 資 産 】</b>	<b>【 0 】</b>	<b>【 95,163 】</b>	<b>【 △ 95,163 】</b>	<b>0.0</b>
下水道受益者負担金	0	95,163	△ 95,163	0.0
資 産 の 部 計	361,486,199	347,891,283	13,594,916	103.9



負債の部				
科目	当期(50期)	前期(49期)	増減	前期比
	円	円	円	%
【流動負債】	【 62,470,543 】	【 64,029,151 】	【 △ 1,558,608 】	97.6
未払金	6,314,817	7,957,405	△ 1,642,588	79.4
前受金	52,509,700	52,447,790	61,910	100.1
預り金	570,026	506,756	63,270	112.5
法人税等充当金	3,076,000	3,117,200	△ 41,200	98.7
負債の部計	62,470,543	64,029,151	△ 1,558,608	97.6
純資産の部				
【株主資本】	【 299,015,656 】	【 283,862,132 】	【 15,153,524 】	105.3
【資本金】	【 22,810,000 】	【 22,810,000 】	【 0 】	100.0
【利益剰余金】	【 276,205,656 】	【 261,052,132 】	【 15,153,524 】	105.8
(その他利益剰余金)	( 276,205,656 )	( 261,052,132 )	( 15,153,524 )	105.8
別途積立金	40,000,000	40,000,000	0	100.0
繰越利益剰余金	236,205,656	221,052,132	15,153,524	106.9
(うち当期純利益)	( 15,153,524 )	( 17,784,883 )	( △ 2,631,359 )	85.2
純資産の部計	299,015,656	283,862,132	15,153,524	105.3
負債・純資産の部計	361,486,199	347,891,283	13,594,916	103.9

# 比 較 損 益 計 算 書

自 令和 2 年 4 月 1 日

飯田清掃株式会社

至 令和 3 年 3 月 31 日

科 目	当期 (50期)	前期 (49期)	増 減	前期比
	円	円	円	%
<b>【売 上 高】</b>	<b>【 173,820,022 】</b>	<b>【 182,490,109 】</b>	<b>【 △ 8,670,087 】</b>	<b>【 95.2 】</b>
汲取収益	68,331,418	74,535,937	△ 6,204,519	91.7
浄化槽収益	67,648,020	67,050,533	597,487	100.9
保守点検収益	7,520,555	7,548,467	△ 27,912	99.6
浄化槽パトロール収益	559,090	1,286,897	△ 727,807	43.4
排水工事調査受託収益	1,804,546	1,368,202	436,344	131.9
法定検査収益	13,320,455	12,672,357	648,098	105.1
農集管理売上	7,420,000	7,420,000	0	100.0
保守点検受託収益	4,112,500	7,728,700	△ 3,616,200	53.2
浄化槽事務手数料	1,154,255	1,038,054	116,201	111.2
路上美化業務	1,949,183	1,840,962	108,221	105.9
<b>【売 上 原 価】</b>	<b>【 124,775,196 】</b>	<b>【 133,244,959 】</b>	<b>【 △ 8,469,763 】</b>	<b>【 93.6 】</b>
当期製品製造原価	124,775,196	133,244,959	△ 8,469,763	93.6
合 計	124,775,196	133,244,959	△ 8,469,763	93.6
売上総利益	49,044,826	49,245,150	△ 200,324	99.6
<b>【販売費及び一般管理費】</b>	<b>【 35,096,095 】</b>	<b>【 34,991,422 】</b>	<b>【 104,673 】</b>	<b>【 100.3 】</b>
営業利益	13,948,731	14,253,728	△ 304,997	97.9
<b>【営業外収益】</b>	<b>【 8,684,366 】</b>	<b>【 11,367,656 】</b>	<b>【 △ 2,683,290 】</b>	<b>【 76.4 】</b>
受取利息	182,542	191,361	△ 8,819	95.4
雑収入	8,501,824	11,176,295	△ 2,674,471	76.1
<b>【営業外費用】</b>	<b>【 54,406 】</b>	<b>【 59,582 】</b>	<b>【 △ 5,176 】</b>	<b>【 91.3 】</b>
貸倒損失	54,406	59,582	△ 5,176	91.3
経常利益	22,578,691	25,561,802	△ 2,983,111	88.3
<b>【特別利益】</b>	<b>【 1,074,833 】</b>	<b>【 723,081 】</b>	<b>【 351,752 】</b>	<b>【 148.6 】</b>
固定資産売却益	1,045,453	690,906	354,547	151.3
貸倒引当金戻入	29,380	32,175	△ 2,795	91.3
税引前当期純利益	23,653,524	26,284,883	△ 2,631,359	90.0
法人税等充当額	8,500,000	8,500,000	0	100.0
当期純利益	15,153,524	17,784,883	△ 2,631,359	85.2

## 販売費及び一般管理費内訳書

自 令和2年4月1日

飯田清掃株式会社

至 令和3年3月31日

科 目	金 額	円
役員報酬	3,300,000	
給 料	6,942,100	
手 当	4,181,627	
退 職 金	3,559,976	
法定福利費	2,254,989	
福利厚生費	305,203	
退職金共済掛金	270,000	
広告宣伝費	23,600	
支払手数料	3,382,228	
諸 会 費	940,132	
接待交際費	79,991	
旅費・交通費	24,427	
通 信 費	348,199	
事務消耗品費	812,280	
消耗品費	89,658	
租税公課	649,209	
減価償却費	1,924,956	
修 繕 費	16,000	
水道光熱費	342,437	
保 險 料	1,089,384	
貸倒引当金繰入	0	
燃 料 費	278,843	
会 議 費	46,511	
賃 借 料	477,048	
研 修 費	49,091	
雑 費	3,708,207	
合 計		35,096,096

# 製造原価報告書

自 令和2年4月1日

飯田清掃株式会社

至 令和3年3月31日

科 目	金	額
		円
<b>【労 務 費】</b>		
給 料	44,981,632	
手 当	20,573,235	
法定福利費	10,919,467	
福利厚生費	655,128	
退職金共済掛金	2,274,000	79,403,462
<b>【投 入 料】</b>		20,537,017
<b>【製 造 経 費】</b>		
事務消耗品費	597,998	
燃 料 費	5,444,582	
消耗品費	2,058,065	
修 繕 費	3,579,289	
租税公課	847,000	
減価償却費	5,047,881	
支払保険料	1,846,160	
支払手数料	349,673	
農集管理原価	5,064,069	24,834,717
当期総製造費用		124,775,196
合 計		124,775,196
当期製品製造原価		124,775,196

## 監査報告

私監査役は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第50期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告及び附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和3年5月18日

監査役 西尾 安廣

監査役 菅沼 良收

## 1 発行済株式に関する事項

(単位：株)

株式の種類	前事業年度	増加	減少	当事業年度
普通株式	2,281	0	0	2,281

## 2 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿額	当期償却額	当期償却累計額	差引期末残高
有形固定資産	建物	54,989,070	0	0	54,989,070	837,186	29,636,292	25,352,778
	附属設備	10,603,221	0	0	10,603,221	590,401	4,471,982	6,131,239
	構築物	5,916,810	0	0	5,916,810	74,690	5,380,068	536,742
	機械装置	11,151,905	0	0	11,151,905	0	11,151,905	0
	車輛運搬具	76,463,352	12,700,000	9,791,791	79,371,561	4,838,949	65,007,602	14,363,959
	工具器具備品	6,157,261	0	0	6,157,261	34,354	6,157,247	14
	土地	46,587,904	0	0	46,587,904	0	0	46,587,904
	一括償却資産	168,667	140,000	161,999	146,668	161,999	0	146,668
	計	212,038,190	12,840,000	9,953,790	214,924,400	6,537,579	121,805,096	93,119,304
	無形固定資産	電話加入権	111,845	0	0	111,845	0	0
ソフトウェア		776,488	0	340,095	436,393	340,095	1,948,607	436,393
計		888,333	0	340,095	548,238	340,095	1,948,607	548,238
繰延資産	下水道受益者負担金	95,163	0	95,163	0	95,163	856,427	0
	計	95,163	0	95,163	0	95,163	856,427	0

## 3 取締役及び監査役に支払った報酬の金額

(単位：円)

区分	支払人員	支払額	摘要
取締役	2人	3,180,000	
監査役	2人	120,000	
計	4人	3,300,000	

## 株主資本等変動計算書

飯田清掃株式会社

自 令和2年4月1日  
至 令和3年3月31日  
(単位：円)

	株主資本						評価・換算 差額等合計	新株予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式				株主資本 合計
		資本準備金	他資本剰余金	利益準備金	他利益剰余金					
前期末残高	22,810,000				261,052,132		283,862,132		283,862,132	
当期変動額										
当期純利益					15,153,524		15,153,524		15,153,524	
当期変動額合計					15,153,524		15,153,524		15,153,524	
当期末残高	22,810,000				276,205,656		299,015,656		299,015,656	

飯田清掃株式会社

(単位：円)

	利益剰余金の内訳		
	別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
前期末残高	40,000,000	221,052,132	261,052,132
当期変動額			
当期純利益		15,153,524	15,153,524
当期変動額合計		15,153,524	15,153,524
当期末残高	40,000,000	236,205,656	276,205,656

# 事業計画書

第51期

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

飯田清掃株式会社



## 事業計画

当社の第51期(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の事業計画については、次のとおりです。

### 1 営業計画

(1) 事業の内容 第51期においては、次に掲げる内容の事業を行うことを予定しています。

- ア し尿のくみ取り及び運搬
- イ 浄化槽の清掃
- ウ 浄化槽の保守点検管理代行業務
- エ 下水排水設備工事調査
- オ 農業集落排水処理施設管理
- カ 浄化槽法定検査
- キ 路上美化業務(動物の死骸回収)
- ク 浄化槽保守管理業務受託

(2) 事業の量 第51期において行う事業量は、次のように見込んでいます。

- ア し尿のくみ取り及び運搬に係る事業量等
  - (ア) し尿のくみ取り及び運搬量 363,000本(1本は18リットル)
  - (イ) し尿のくみ取り及び運搬について当社を利用する一般家庭数 2,894戸
- イ 浄化槽清掃の数 1,450基
- ウ 浄化槽の保守点検管理代行業務の対象となる浄化槽の数 250基
- エ 下水排水設備工事調査件数 450件
- オ 農業集落排水処理施設管理 5つの処理場を管理
- カ 浄化槽法定検査 5,000基
- キ 路上美化業務 600頭
- ク 浄化槽保守管理業務受託の対象となる浄化槽の数 115基

### 2 営業日数等

第51期において当社が営業を行う日数等は、次のように予定しています。

- (1) 営業を行う日数 240日
- (2) 営業を行う時間 1,800時間



報告第30号

株式会社飯田健康温泉の経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、株式会社飯田健康温泉の経営状況を説明する書類を、別紙のとおり提出する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健

# 決 算 報 告 書

第 2 3 期

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

株式会社 飯田健康温泉

# 営業の報告

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第23期の営業状況について、次のとおり報告します。

## 1 概要説明

株式会社飯田健康温泉（以下「当社」といいます。）は、飯田市が設置した飯田市健康増進施設（以下「施設」といいます。）について、地方自治法第244条の2第3項の規定によりその管理を行うべく、指定管理者として指定された第三セクターです。

この施設は、豊富な湯量と優れた泉質の温泉を有し、衛生管理が行き届いていることに加え、令和2年10月には、ろ過機の更新とロビーの壁の改修を実施し、「きれい、清潔、親切、入って気持ちの良い温泉」と評判です。

また、施設には木質ペレットボイラー、太陽光発電設備、LED照明など地球温暖化の防止に資する設備を導入しており、施設が自然エネルギーを利用した温泉施設という環境モデル都市にふさわしいものであることを利用者にPRしてきました。

更には人気の高い源泉ひのき風呂と貯蔵タンク30トンを増設したことにより、施設の魅力が高まりました。また、ホームページやSNSを活用し、多くの皆様への情報発信を行っています。

令和3年3月には、平成11年8月に開業以来累計入場者数300万人を達成し記念行事を行いました。地元メディアにも紹介いただき、該当者とその前後の方に記念品をお渡しするとともに、地域への還元として、2人まで100円の割引ができる券を広報いだしに刷り込み、広告を掲載しました。

運営面においては、水中運動教室及び床運動教室を実施し、これらの教室に併せて行っている看護師による健康相談も好評で、お客様の健康管理に寄与しています。

また、新そばまつりを開催し、お客様が楽しめる親しみやすい施設を目指しました。

木質ペレットボイラーの使用に際しては、効率的なペレットの使用法を模索したり、駐車場内西側に井戸を設置し、施設内で使用する水を確保したりするなど、水道光熱費の削減にも取り組んでいます。

しかし、今期は新型コロナウイルス感染症に翻弄され、これまでの利用者の減少傾向に加え、感染症への警戒のため入場者数は大きく減少しました。こうした状況のため、営業活動も限定したものとならざるを得ない中、経費の見直しを行い、経営体力の維持に努めました。

また、松尾地区まちづくり委員会と懇談を持ち、経営実態や経営改善に向けた施策の取組状況を報告し、一步踏み込んだ経営方針についての意見交換を行いました。更には要望、提案等をお聞きし、今後も松尾地区まちづくり委員会との連携を深めていくことを確認できました。

## 2 施設の利用状況

### (1) 営業日数及び入場者数

今期は、施設を通年263日間営業しました（毎月第2、第4月曜日は休業日（国民の祝日に該当する場合を除きます。）。前期は344日間、前々期は345日間営業）。

今期の延べ利用者数は73,557人、1日平均で280人でした（前期は125,975人、1日平均で366人 前々期は140,204人、1日平均で406人）。新型コロナウイルス感染症による影響や感染拡大抑制のため令和2年4月から同年5月までと令和3年1月から同年2月までを臨時休館したことと、令和2年10月にろ過器の交換工事のため休館したことなどが重なり、前年

と比べ利用者数は42%の減少となりました。

(2) 食堂利用状況（麺類10種類、御飯類4種類、飲物、おつまみ等を提供）

食堂の売上高は、3,502,870円で、新型コロナウイルス感染症の影響により前期と比べて約350万円の減収となりました。

(3) 自動販売機利用状況（ジュース類3台、アイスクリーム1台）

自動販売機の売上高は717,466円であり、前期と比べて約57万円の減収となりました。

**飯田市健康増進施設 月別入場者数**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	9日	8日	28日	29日	30日	28日	9日	29日	29日	16日	19日	29日	263日
入場者	2,175人	1,431人	7,029人	7,675人	7,741人	7,808人	2,664人	8,435人	8,666人	4,579人	5,945人	9,409人	73,557人
1日当たり入場者	242人	179人	251人	265人	258人	279人	296人	291人	299人	286人	313人	324人	平均280人

参考：開業以来の入場者数 3,002,125人（令和3年3月31日現在）

**3 水中運動教室及び床運動教室の開催状況**

施設で開講している水中運動教室や床運動教室では、健康への関心の高まりを受けて、お客様の様々な需要に応じた教室を設けています。

運動教室の受講者は、水中運動5,761人、床運動3,905人で年間計9,666人の利用がありましたが、前期に比べると35%減少しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参加者が減少したので、今後は、参加者が安心して参加できる環境を整え、参加を控えている受講者の呼び戻しと、新規受講者の確保のための様々な方策を検討していくことが課題といえます。

また、水中運動教室に併せて看護師が行っている健康相談の実績は今期322回、7,807件で、運動教室の参加者の減少の影響もあり相談件数は40%減少しました。

**4 施設管理の状況**

施設をお客様に常に心地よくご利用いただけるようにすることが、当社の最大の使命と認識し、早期に設備の修繕を行う等の施設管理を実施しています。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、検温、手指消毒器具を設置し、来場者にはマスク着用をお願いしています。

(1) 浴室、脱衣室及び運動浴室

浴室及び脱衣室に関しては、温泉の温度管理を精度の高い自動制御装置を導入して行い、当社従業員が毎日浴槽の温泉の入替えを行っています。

清掃は、毎日営業前、営業中及び営業後に、従業員が適切な方法で実施し、また、定期的に専門業者へ委託して行っています。

運動浴槽に関しては、温泉の入替えを定期に実施し、同時に可動床の上部から下部まで清掃をしています。清潔な水質を維持し水中運動等にご利用いただけるよう努めています。

(2) 休憩スペース、多目的ホール及び会議室

営業開始前に清掃し、営業中も巡回して、利用者がいつも快適に過ごせるよう、クリーンでホッとできる環境づくりに努めています。また、ホールの壁の塗装工事を実施しました。

(3) 源泉設備及び機械室

源泉設備及び機械室は大変重要な設備です。専門業者に委託し定期的にメンテナンスしています。

また、当社従業員が日常点検を漏れなく実施し、設備を適切に操作して運用しています。利用者にご不便をおかけしないよう細心の注意を払っています。

開業以来使用してきたろ過器については、水漏れ等で限界に達したため10月に交換工事を行いました。

(4) 浄化槽、防災施設、地下タンク、高圧電気設備、自動車等

法令遵守に心がけ、義務付けられている点検や整備は遅滞なく実施しています。経年劣化等の状況変化に対応すべく、日々の保守管理を欠かさないようにしています。

(5) 井戸

水道光熱費削減のため駐車場内西側に井戸を掘削し水量を確保しており、浴室洗浄、シャワー、トイレ、洗面所などに使用し水道料が半減し節約になっています。

## 5 損益計算状況

今期の売上高合計額は、42,673,814円でした。内訳は、温泉施設利用料が30,943,152円、運動教室収入が7,552,601円、食堂売上が3,502,870円、自動販売機等手数料収入が717,466円でした。これに雑収入等の営業外収益として、持続化給付金、雇用調整助成金、休業補償金等の補助金11,653,949円を加えますと、収入総額は54,327,763円となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、温泉施設利用料は、入場者数が対前年52,418人減少し73,557人に留まったため、21,958,832円の減収となりました。また、食堂売上高は3,585,692円減、販売機等手数料は568,044円減、教室収入も4,752,529円減とすべてにおいて大幅減収となり、結果、売上高全体では対前期30,907,372円の減収となりました。

また、売上原価、販売費及び一般管理費の合計額は対前期13,992,343円減の58,958,815円となり、結果、営業損失は16,285,001円となりました。これに営業外収益11,653,949円を加え、経常損失は4,631,052円となります。税引前当期純損失は4,618,941円、これから法人税等の71,000円を差し引き、当期純損失は4,689,941円となりました。

今期は厳しい経営状況であり、開業以来初めての赤字計上となりましたが、飯田市、松尾地区まちづくり委員会をはじめ、多くの皆様のご協力を頂き、職員一丸となって赤字の削減に努めました。

## 6 施設の概要

(1) 施設の規模

ア 敷地面積 2,972.52㎡

イ 建物延床面積 1,736.7㎡

(2) 主な設備

ア 浴室、露天風呂、脱衣ロッカー (280人分)

イ 可動床を備えた運動浴槽 (広さ20m×8m、水深0.3mから1.1mまで)

ウ 歩行浴槽 (広さ15m×2m、水深1.0m)

エ ジャグジー、リフト付き浴室

オ 多目的ホール、研修室、会議室

カ 軽食堂、豊休憩室、交流スペース

キ ペレットボイラー、太陽光発電設備

ク 井戸

(3) 源泉名

松尾水神温泉（掘削深度 1,700m、泉温 39.6℃）

(4) 泉質

水素イオン濃度 ph10.13のアルカリ性単純泉（アルカリ性低張性温泉）

## 7 当社の概要

(1) 株式の状況

ア 発行済みの株式の総数 200株

イ 株主、持株数等

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
飯田市	100	50.0
小木曾 博人	22	11.0
木下 照廣	18	9.0
宮脇 勇二	18	9.0
鋤柄 富男	18	9.0
田中 一明	9	4.5
齋藤 徹	9	4.5
加藤 千寿子	6	3.0
合 計	200	100.0

(2) 役員

役職名	氏名
代表取締役社長	小木曾 博人
取締役	木下 照廣
取締役	宮脇 勇二
取締役	鋤柄 富男
取締役	田中 一明
取締役	齋藤 徹
取締役	高田 修
監査役	小澤 千亮
監査役	宮澤 直人

(3) 従業員の状況

従業員数等	常勤の男子（支配人を含む。）	5人	計 15人
	常勤の女子	10人	



# 貸借対照表

令和3年3月31日現在

## 株式会社 飯田健康温泉

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	今期決算額	前期決算額	科 目	今期決算額	前期決算額
	円	円		円	円
<b>【流動資産】</b>	39,803,522	44,337,558	<b>【流動負債】</b>	8,541,664	10,486,487
現金・預金	35,244,299	40,515,268	買掛金	2,941,410	3,913,025
売掛金	377,000	651,000	未払金	134,655	244,428
棚卸資産	653,848	859,890	未払費用	930,893	790,246
前払費用	52,800	0	未払法人税等	71,000	92,200
繰延税金資産	449	0	未払消費税等	0	1,277,700
未収入金	3,432,598	65,667	前受金	4,295,970	3,765,350
立替金	45,184	2,260,500	預り金	148,080	167,666
貸倒引当金	△ 2,656	△ 14,767	仮受金	0	0
<b>【固定資産】</b>	9,927,722	12,048,106	リース未払金	19,656	235,872
(有形固定資産)	9,830,818	11,951,202	<b>【固定負債】</b>	0	19,656
建物	170,104	200,159	長期リース未払金	0	19,656
構築物	2,497,772	2,793,211	<b>【引当金】</b>	0	0
機械・装置	4,607,156	5,501,075	<b>負債の部 合計</b>	<b>8,541,664</b>	<b>10,506,143</b>
工具・器具・備品	1,026,070	1,507,929	<b>純 資 産 の 部</b>		
建物付属設備	1,493,316	1,657,194	<b>【株主資本】</b>	41,189,580	45,879,521
リース資産	36,400	254,800	資本金	10,000,000	10,000,000
一括償却資産	0	36,834	資本剰余金	0	0
(無形固定資産)	96,904	96,904	利益剰余金	31,189,580	35,879,521
電話加入権	96,904	96,904	(利益準備金)	2,500,000	2,500,000
(投資その他の資産)	0	0	(その他利益剰余金)	28,689,580	33,379,521
預託金	0	0	別途積立金	25,666,000	25,666,000
長期前払費用	0	0	役員退職積立金	1,335,000	0
<b>【繰延資産】</b>	0	0	繰越利益剰余金	1,688,580	7,713,521
<b>資産の部 合計</b>	<b>49,731,244</b>	<b>56,385,664</b>	<b>純資産の部 合計</b>	<b>41,189,580</b>	<b>45,879,521</b>
			<b>負債・純資産の部 合計</b>	<b>49,731,244</b>	<b>56,385,664</b>

# 損益計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

株式会社 飯田健康温泉

科 目	今 期 決 算 額		前 期 決 算 額	
	円		円	
『経常損益の部』 (営業損益の部)				
【売上高】				
温泉施設利用料	30,943,152		52,901,984	
食堂売上高	3,502,870		7,088,562	
販売機等手数料収入	717,466		1,285,510	
教室収入	7,552,601	42,716,089	12,305,130	73,581,186
売上値引・戻り高		<u>△ 42,275</u>		<u>0</u>
		42,673,814		73,581,186
【売上原価】				
期首棚卸高		406,330		336,203
商品仕入高	392,637		779,984	
食材等仕入高	1,777,918		3,788,455	
支払手数料等	6,057,730	8,228,285	7,912,679	12,481,118
合計		8,634,615		12,817,321
期末棚卸高		340,608		406,330
売上総利益		<u>8,294,007</u>		<u>12,410,991</u>
		34,379,807		61,170,195
【販売費及び一般管理費】				
販売費・一般管理費	50,664,808	50,664,808	60,540,167	60,540,167
営業利益(損失)		<u>△ 16,285,001</u>		<u>630,028</u>
(営業外損益の部)				
【営業外収益】				
受取利息割引料		2,965		4,244
貸倒引当金戻入額		0		0
雑収入	11,650,984	11,653,949	999,336	1,003,580
【営業外費用】				
繰延資産償却		<u>0</u>		<u>0</u>
		0		0
経常利益		<u>△ 4,631,052</u>		<u>1,633,608</u>
『特別損益の部』				
【特別利益】				
貸倒引当金戻入額	12,111	12,111	0	0
【特別損失】				
固定資産売却・除却損		0		0
役員退職金		<u>0</u>	1,489,000	1,489,000
		0		0
税引前当期純利益		<u>△ 4,618,941</u>		<u>144,608</u>
法人税、住民税及び事業税	71,000		92,845	
法人税等調整額	0	71,000	0	92,845
当期純利益		<u>△ 4,689,941</u>		<u>51,763</u>
前期繰越利益剰余金		6,378,521	7,661,758	
当期末処分利益剰余金		<u>1,688,580</u>	<u>7,713,521</u>	

# 販売費及び一般管理費内訳書

自 令和2年4月1日  
至 令和3年3月31日

株式会社 飯田健康温泉

科 目	今 期 決 算 額	前 期 決 算 額
	円	円
販 売 員 給 与	21,566,450	22,322,907
広 告 宣 伝 費	334,324	417,679
厨 房 用 消 耗 品 費	23,565	172,670
環 境 整 備 費	2,479,991	2,924,824
賃 借 料	114,000	103,981
自 動 車 費	56,358	200,532
役 員 報 酬	210,000	1,560,000
従 業 員 賞 与	390,000	1,110,000
法 定 福 利 費	2,016,296	2,322,102
厚 生 費	848,892	917,976
減 価 償 却 費	2,120,384	1,861,437
リ ー ス 料	72,987	106,988
地 代 家 賃	105,479	105,479
修 繕 費	659,377	742,085
事 務 用 消 耗 品 費	379,498	595,379
通 信 交 通 費	572,203	460,574
水 道 光 熱 費	14,366,308	19,524,762
租 税 公 課	137,000	125,700
寄 付 金	0	20,000
接 待 交 際 費	62,653	525,074
保 険 料	230,830	216,990
備 品 ・ 消 耗 品 費	318,958	443,013
管 理 諸 費	3,341,098	3,503,362
会 議 打 ち 合 わ せ 費	39,182	0
貸 倒 償 却	0	5,423
雑 費	218,975	251,230
合 計	50,664,808	60,540,167

## 利益処分計算書

科 目	金 額
	円
【 当期末利益剰余金 】	1,688,580
【 任意積立金取崩高 】	0
合 計	1,688,580
【 利益剰余金処分別額 】	0
別 途 積 立 金	100,000
合 計	100,000
【 次期繰越利益剰余金 】	1,588,580

## 監査報告

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第23期事業年度の貸借対照表、損益計算書、営業報告書、利益処分に関する議案及び附属明細書を監査しましたところ、これらが適法かつ正確であることを認めます。

令和3年4月30日

株式会社 飯田健康温泉

監査役 小澤 千亮

監査役 宮澤 直人

# 事業計画書

第24期

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

株式会社 飯田健康温泉

# 株式会社飯田健康温泉 事業計画書

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第24期の事業について、次のとおり計画します。

## 1 方針

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たず、経営は厳しい状況であり、臨時休館の可能性が残りますが、飯田市健康増進施設（通称ほっ湯アップル。以下「施設」といいます。）の指定管理者として、情勢を見極めながら、役員及び従業員が知恵を出し合ってその時々で適切な手段を検討し、迅速に対応して、施設の運営、維持及び管理などに努めてまいります。

厳しい状況ではありますが、これまでどおり、飯田市が取り組む住民の健康増進に寄与すべく、安心してお客様が安全に利用できる施設運営を行います。

## 2 事業計画

(1) 施設について、その将来性を高めるため、次のとおり運営します。

ア 天然温泉という経営資源を生かして温泉プールの利用を進めるとともに、各運動教室の内容を充実して、住民の健康増進に役立つ施設運営を行います。

イ 現状分析のうえ、適切な施設管理及び維持経費を最小限に抑えることによる経費節減に取り組み、健全経営に努めます。

ウ 木質ペレットボイラーの効率的な運転を行い、環境モデル都市として温暖化の防止に貢献します。

(2) 施設的环境保全に関して、次のことを行います。

ア 定期的に水質検査を実施し、レジオネラ菌その他の雑菌を滅菌し排除します（法令に基づく浴槽水の衛生管理に留意し、貯湯タンクの清掃の際の洗浄殺菌剤の投与、運動浴槽の定期的な清掃及び殺菌の管理を厳重に行い、常に清潔かつ安全な温泉水を維持します）。

イ 露天風呂、休憩スペースなどの衛生管理を徹底します。

ウ 施設の点検を適切に行い、修理及び老朽化について早期に、かつ、計画的に対応します。

エ 新型コロナウイルス感染症対策として、施設内の衛生管理は特に留意して実施します。

(3) 施設の認知度を全市的に高め、利用者を増やすために、次のことに取り組みます。

ア 公共交通機関（巡回バス）の停留所があることをいかし、利用者の拡大につなげます。

イ 飯田エフエム放送株式会社、株式会社飯田ケーブルテレビ、新聞社などの地元報道機関等との提携を強化します。また、フリーペーパーなども活用し、PRを強化します。

ウ 松尾地区まちづくり委員会等の地域団体との連携により、多目的ホールと会議室や隣接する松尾天竜グラウンドの有効活用も考慮しながら事業を進めます。

エ そば祭りなどのイベントを継続して開催するとともに、新規のイベントについても検討し、利用者に親しまれる施設を目指します。

オ ポスターの掲示やチラシの配布と合わせ、コアカレッジの学生実習の一環としてホームページの見直しを依頼し、青壮年層の利用につながるような新たなホームページの開設を目指します。

(4) 水中運動教室及び床運動教室の内容について、多くの受講者の声を聴きながら更なる内容の充実を図り、継続受講者の確保とともに新規受講者の拡大に努めます。

(5) 社会貢献及び善意事業として、無料招待、無料開放、無料入場等を実施します。

(6) 従業員の接客サービス及びマナーの向上並びに非常時における対応の訓練、救急救命技術習得などにより、施設の利用に係る安心と安全の向上を図ります。

(7) 看護師による健康相談を充実させ、緊急時にも対応し、安全対策を引き続き進めます。

- (8) 食堂において四季折々の食材を利用するなど年間を通して利用者に喜ばれる魅力あるメニューの提供を行い、また新たなメニューの開発と味の研究にも取り組みます。
- (9) 地元の生産者の協力により、季節野菜・果物の品ぞろえを充実させ、売れ筋情報の収集を進めることで、新鮮かつ安価、要望のある商品の提供に努めます。

報告第31号

一般財団法人飯田勤労者共済会の経営状況を説明する書類の提出  
について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、一般財団法人飯田勤労者共済会の経営状況を説明する書類を、別紙のとおり提出する。

令和3年6月4日報告

飯田市長 佐藤 健



令和2年度

事業報告及び決算報告書

一般財団法人 飯田勤労者共済会

## 1 事業の概要

飯伊地域の事業所で働く勤労者及び事業主の福祉の向上を図るため、総合的に福利厚生事業を実施してまいりました。

今年度は、コロナ禍のために各種事業の中止や縮小をせざるを得ない状況ではありましたが、「指定割引店利用助成金事業」(会員への還元事業)や「地元定着促進就職祝金(共済給付事業)」の創設や新たに「アロマ教室」、「ハーバリウムづくり体験」、「自動車運転免許優良更新助成」、「交通安全啓発事業」、「お楽しみ大抽選会2021」等を実施し、会員の満足度向上に努めました。

従来から実施している事業のうち、余暇活動のスポーツ観戦、推奨ツアー、各種施設利用等の助成は減少している一方で、健康維持増進事業の「インフルエンザ予防接種費用一部助成」、「人間ドック等受診料助成」が増加し、コロナ禍における社会情勢を反映した結果となっています。

会員数の拡大については、理事、評議員、加入推進員等と連携すると共に、会員からの未加入事業所の紹介による事業所への訪問、ダイレクトメール、広告等による加入推進の強化により、年間を通じて会員数14,000人台を確保することができました。

### (1) 現状と主な取組

ア 令和3年4月1日現在の共済会加入事業所は1,547事業所、会員数は14,215人となっています。

イ 通常の加入推進活動に加え8月から10月までを加入推進強化月間として、理事をはじめ関係する皆さんと協力して加入推進を行いました。

また、地元新聞への広告掲載やイベント協賛等を行い、幅広く宣伝活動を行いました。

ウ 会報「共済会だより」を毎月発行し、会員へ情報提供を行い、各種事業への参加を呼びかけました。

### (2) 実施した事業

共済給付事業、健康管理給付、お楽しみ大抽選会2021、体育施設の利用、スポーツ観戦その他の各種鑑賞事業及び各種イベントへの参加助成の実施並びに各種スポーツ大会、定年準備セミナー、ワインセミナー等の開催並びに指定割引施設の拡充に向けた取組

## 2 会員

	R3. 4. 1 現在	R2. 4. 1 現在	増 減	増減率	増減内訳	
					入会	脱会
事業所数	1,547所	1,565所	△ 18所	△ 1.15%	16所	34所
会員数	14,215人	14,225人	△ 10人	△ 0.07%	1,059人	1,069人

### 3 共済事業

共 済 事 由		件数(件)	独自給付(円)	全労済協会等 給付(円)	合計(円)		
祝 金	地 元 定 着 促 進 就 職	61	610,000	-	610,000		
	結 婚	152	1,520,000	-	1,520,000		
	銀 婚	72	720,000	-	720,000		
	金 婚	28	280,000	-	280,000		
	出 生	271	2,710,000	-	2,710,000		
	小 学 校 入 学	387	3,096,000	-	3,096,000		
	中 学 校 入 学	402	3,216,000	-	3,216,000		
慰 労 金	退職慰労金 50歳以上	会員期間7年～15年未満	70	700,000	-	700,000	
		会員期間15年以上	133	2,660,000	-	2,660,000	
見 舞 金	傷病見舞	休業14日以上	74	592,000	-	592,000	
		休業30日以上	115	1,150,000	-	1,150,000	
特 別 給 付 金	70 歳 特 別 給 付 金		138	414,000	-	414,000	
	第 2 号 会 員 特 別 給 付 金		32	256,000	-	256,000	
	高齢者記念品	71歳以上	1,200	1,270,080	-	1,270,080	
死 亡 見 舞 金	会 員 死 亡		27	2,700,000	-	2,700,000	
	配 偶 者 死 亡		24	720,000	-	720,000	
	子 供 死 亡		5	50,000	-	50,000	
	親 死 亡		426	2,556,000	-	2,556,000	
重 度 障 害		-	-	-	-		
住 宅 災 害 見 舞 金	【火災等】 火災・落雷・爆発 外部からの衝突 第三者の加害行為 水漏れ	全焼・全損 半焼・半損(50%以上)	1	-	100,000	100,000	
		一部焼 一部損	30%以上50%未満	-	-	-	-
			20%以上30%未満	-	-	-	-
			20%未満	4	-	80,000	80,000
		家財のみの損害		-	-	-	-
	【自然災害】 噴火・津波 暴風雨・高波・豪雨 雪崩・降雪 以上を原因とする 火災・爆発も含む	全壊・流失(70%以上)		-	-	-	-
		半壊(20%以上)		-	-	-	-
床上浸水		1	-	6,000	6,000		
一部壊		-	-	-	-		
住宅災害による同居親族の死亡		-	-	-	-		
健 康 管 理 給 付 金	40歳		278	1,668,000	-	1,668,000	
	50歳		373	2,238,000	-	2,238,000	
	60歳		295	1,770,000	-	1,770,000	
合 計		4,569	30,896,080	186,000	31,082,080		

#### 4 受託事業

飯田市勤労者福祉センター受付等業務 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

#### 5 会議

- (1) 理事会 5回開催 5月1日、6月17日、10月22日（書面決議）、11月11日、3月1日
- (2) 定時評議員会 1回開催 5月22日
- (3) 臨時評議員会 2回開催 10月28日（書面決議）、3月22日
- (4) あり方研究委員会 1回開催 11月24日

#### 6 加入促進

- (1) 未加入事業所へのDM発送後、加入推進担当による事業所への訪問勧誘
- (2) 理事、評議員、加入推進員及び会員等からの紹介による未加入事業所への訪問勧誘
- (3) 加入推進強化月間（8月から10月まで）の実施
- (4) 新聞、市町村広報誌、地元FMラジオ等による広告宣伝の実施

#### 7 共済会だよりの発行

12回発行（毎月）

# 貸借対照表

令和3年03月31日現在

会 計： 一般会計

(単位： 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,447,915	15,718,448	1,729,467
現金	34,353	35,176	△823
現金（一般会計）	34,353	35,176	△823
普通預金	17,413,562	15,683,272	1,730,290
飯田信用金庫（一般会計）	17,407,198	15,675,397	1,731,801
八十二銀行	1,164	805	359
長野銀行	942	1,588	△646
長野県信用組合	1,090	1,057	33
アルプス中央信用金庫	714	1,485	△771
労働金庫	1,676	1,126	550
みなみ信州農協	778	1,814	△1,036
未収会費	1,200	0	1,200
貯蔵品	169,350	0	169,350
前払金	260,700	0	260,700
流動資産合計	17,879,165	15,718,448	2,160,717
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
給付積立資産	85,171,000	85,171,000	0
記念事業積立資産	2,100,000	2,100,000	0
運営積立資産	20,195,000	19,395,000	800,000
特定資産合計	107,466,000	106,666,000	800,000
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2	2	0
什器備品	543,332	1,222,435	△679,103
ソフトウェア	14,760	191,880	△177,120
電話加入権	79,360	79,360	0
預託金	17,570	17,570	0

# 貸借対照表

令和3年03月31日現在

会 計： 一般会計

(単位： 円)

科 目	当年度	前年度	増減
出資金	372,000	372,000	0
その他固定資産合計	1,027,024	1,883,247	△856,223
固定資産合計	138,493,024	138,549,247	△56,223
資産の部合計	156,372,189	154,267,695	2,104,494
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	314,218	137,295	176,923
未払金（一般会計）	314,218	137,295	176,923
流動負債合計	314,218	137,295	176,923
負債の部合計	314,218	137,295	176,923
Ⅲ 正味財産の部			
1. 一般正味財産	156,057,971	154,130,400	1,927,571
（うち基本財産への充当額）	30,000,000	30,000,000	0
（うち特定資産への充当額）	107,466,000	106,666,000	800,000
正味財産合計	156,057,971	154,130,400	1,927,571
負債及び正味財産合計	156,372,189	154,267,695	2,104,494

# 正味財産増減計算書

令和2年04月01日から令和3年03月31日まで

会 計： 一般会計

(単位： 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	19,829	10,700	9,129
基本財産受取利息	19,829	10,700	9,129
受取会費	55,930,200	55,317,200	613,000
受取入会金	223,800	208,400	15,400
受取入会金	223,800	208,400	15,400
受取会費	55,706,400	55,108,800	597,600
受取会費	51,431,100	50,873,700	557,400
受取負担金	4,275,300	4,235,100	40,200
事業収益	5,927,216	8,627,328	△2,700,112
生活安定事業収益	194,316	368,248	△173,932
住宅災害保険金収益	186,000	360,000	△174,000
還元金	8,316	8,248	68
健康維持増進事業収益	208,000	328,000	△120,000
参加者負担金	0	32,000	△32,000
補助事業収益	208,000	296,000	△88,000
自己啓発等事業収益	5,524,900	7,931,080	△2,406,180
ふれあい事業負担金	241,000	352,500	△111,500
補助事業収益	5,283,900	7,578,580	△2,294,680
受取補助金	12,733,200	12,722,400	10,800
受取補助金	12,733,200	12,722,400	10,800
受取地方公共団体補助金	12,733,200	12,722,400	10,800
雑収益	2,192,942	2,105,463	87,479
雑収益	2,192,942	2,105,463	87,479
受取利息	9,780	12,704	△2,924
業務受託収益	1,999,000	1,839,000	160,000
雑収益	184,162	253,759	△69,597
経常収益計	76,803,387	78,783,091	△1,979,704
(2) 経常費用			
事業費	50,408,485	53,153,943	△2,745,458

# 正味財産増減計算書

令和2年04月01日から令和3年03月31日まで

会 計： 一般会計

(単位： 円)

科 目	当年度	前年度	増減
入場料	146,000	169,000	△23,000
旅費交通費	10,220	3,060	7,160
通信運搬費	1,960,037	2,020,774	△60,737
消耗品費	2,319,718	2,243,246	76,472
印刷製本費	3,616,030	2,980,652	635,378
広告宣伝費	609,300	194,200	415,100
賃借料及び使用料	13,050	16,800	△3,750
保険料	3,500	7,000	△3,500
住宅災害保険料	342,874	339,158	3,716
共済給付金	25,406,080	26,789,539	△1,383,459
健康管理給付金	5,676,000	5,088,000	588,000
諸謝金	121,080	107,000	14,080
手数料	32,026	0	32,026
助成金	9,875,370	12,137,100	△2,261,730
推奨ツアー費	0	110,500	△110,500
食糧費	277,200	643,786	△366,586
委託費	0	304,128	△304,128
管理費	24,467,331	24,094,011	373,320
給料手当	14,140,474	13,565,892	574,582
福利厚生費	2,335,223	2,490,470	△155,247
退職共済掛金	600,000	600,000	0
会議費	383,766	311,632	72,134
旅費交通費	0	146,710	△146,710
通信運搬費	1,082,529	1,047,193	35,336
減価償却費	1,087,223	1,199,118	△111,895
什器備品	910,103	1,021,998	△111,895
ソフトウェア	177,120	177,120	0
消耗品費	684,428	807,867	△123,439
修繕費	58,670	669,224	△610,554
印刷製本費	470,019	142,424	327,595
燃料費	107,715	87,237	20,478
賃借料及び使用料	466,383	294,347	172,036



# 正味財産増減計算書

令和2年04月01日から令和3年03月31日まで

会 計： 一般会計

(単位： 円)

科 目	当年度	前年度	増減
保険料	133,420	137,820	△4,400
諸謝金	877,465	817,500	59,965
手数料	1,023,141	1,059,277	△36,136
役員退職慰労金	60,000	0	60,000
租税公課	789,600	490,900	298,700
支払負担金	167,275	226,400	△59,125
経常費用計	74,875,816	77,247,954	△2,372,138
評価損益等調整前当期経常増減額	1,927,571	1,535,137	392,434
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,927,571	1,535,137	392,434
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産評価損	0	68,424	△68,424
電話加入権評価損	0	68,424	△68,424
経常外費用計	0	68,424	△68,424
当期経常外増減額	0	△68,424	68,424
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,927,571	1,466,713	460,858
当期一般正味財産増減額	1,927,571	1,466,713	460,858
一般正味財産期首残高	154,130,400	152,663,687	1,466,713
一般正味財産期末残高	156,057,971	154,130,400	1,927,571
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	156,057,971	154,130,400	1,927,571

# 財 産 目 録

令和3年03月31日現在

会 計： 一般会計

科 目	金 額	
I 資産の部		
1.流動資産		
現金預金	17,447,915	
現金	34,353	
現金（一般会計）	34,353	
普通預金	17,413,562	
飯田信用金庫（一般会計）	17,407,198	
飯田信用金庫（一般会計 預り金）	0	
八十二銀行	1,164	
長野銀行	942	
長野県信用組合	1,090	
アルプス中央信用金庫	714	
労働金庫	1,676	
みなみ信州農協	778	
未収会費	1,200	
貯蔵品	169,350	
前払金	260,700	
流動資産合計		17,879,165
2.固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金	30,000,000	
基本財産合計	30,000,000	
(2) 特定資産		
給付積立資産	85,171,000	
飯田信用金庫 定期預金	34,500,000	
八十二銀行 定期預金	17,000,000	
長野銀行 定期預金	6,671,000	
長野県信用組合 定期預金	7,000,000	
労働金庫 定期預金	10,000,000	
みなみ信州農協 定期貯金	10,000,000	
記念事業積立資産	2,100,000	
長野県信用組合 定期預金	1,000,000	

# 財 産 目 録

令和3年03月31日現在

会 計： 一般会計

科 目	金 額		
ｱﾙﾌﾟｽ中央信用金庫 定期預金	1,100,000		
運営積立資産	20,195,000		
長野銀行 定期預金	4,300,000		
長野県信用組合 定期預金	3,493,000		
ｱﾙﾌﾟｽ中央信用金庫 定期預金	10,787,000		
労働金庫 定期預金	800,000		
みなみ信州農協 定期貯金	815,000		
特定資産合計	107,466,000		
(3) その他の固定資産			
車両運搬具	2		
車両運搬具（一般会計）	2		
什器備品	543,332		
什器備品（一般会計）	543,332		
ソフトウェア	14,760		
ソフトウェア（一般会計）	14,760		
電話加入権	79,360		
預託金	17,570		
預託金（一般会計）	17,570		
出資金	372,000		
飯田信用金庫 出資金	5,000		
労働金庫 出資金	367,000		
その他固定資産合計	1,027,024		
固定資産合計		138,493,024	
資産合計			156,372,189
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	314,218		
未払金（一般会計）	314,218		
預り金	0		
預り金	0		
職員所得税	0		
住民税	0		

# 財 産 目 録

令和3年03月31日現在

会 計： 一般会計

科 目	金 額		
雇用保険料	0		
社会保険料	0		
その他 源泉所得税	0		
流動負債合計		314,218	
固定負債合計		0	
負債合計			314,218
正味財産			156,057,971

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び什器備品については、定率法により計算している。

ソフトウェアについては、定額法により計算している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
給付積立資産	85,171,000	0	0	85,171,000
記念事業積立資産	2,100,000	0	0	2,100,000
運営積立資産	19,395,000	800,000	0	20,195,000
小 計	106,666,000	800,000	0	107,466,000
合 計	136,666,000	800,000	0	137,466,000

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対す る額)
基本財産 定期預金	30,000,000	0	30,000,000	0
小 計	30,000,000	0	30,000,000	0
特定資産				
給付積立資産	85,171,000	0	85,171,000	0
記念事業積立資産	2,100,000	0	2,100,000	0
運営積立資産	20,195,000	0	20,195,000	0
小 計	107,466,000	0	107,466,000	0
合 計	137,466,000	0	137,466,000	0

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却等累計額	当期末残高
車両運搬具	2,724,250	2,724,248	2
什器備品	5,761,036	5,217,704	543,332
ソフトウェア	885,600	870,840	14,760
合 計	9,370,886	8,812,792	558,094

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 地方公共団体補助金	飯田市	0	12,733,200	12,733,200	0	
合	計	0	12,733,200	12,733,200	0	

#### 附属明細書

- ・基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載をしているので、内容の記載を省略した。

# 収支計算書

令和2年04月01日から令和3年03月31日まで

会 計： 一般会計

(単位： 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	19,000	19,829	△829	
基本財産利息収入	19,000	19,829	△829	
会費収入	54,410,000	55,930,200	△1,520,200	
入会金収入	200,000	223,800	△23,800	
入会金収入	200,000	223,800	△23,800	
会費収入	54,210,000	55,706,400	△1,496,400	
会費収入	50,040,000	51,431,100	△1,391,100	
負担金収入	4,170,000	4,275,300	△105,300	
事業収入	8,449,000	5,927,216	2,521,784	
生活安定事業収入	37,000	194,316	△157,316	
住宅災害保険金収入	29,000	186,000	△157,000	
還元金収入	8,000	8,316	△316	
健康維持増進事業収入	275,000	208,000	67,000	
参加者負担金収入	35,000	0	35,000	
補助事業収入	240,000	208,000	32,000	
自己啓発等事業収入	8,137,000	5,524,900	2,612,100	
ふれあい事業負担金収入	776,000	241,000	535,000	
補助事業収入	7,361,000	5,283,900	2,077,100	
補助金収入	12,733,000	12,733,200	△200	
補助金収入	12,733,000	12,733,200	△200	
地方公共団体補助金収入	12,733,000	12,733,200	△200	
雑収入	2,139,000	2,192,942	△53,942	
雑収入	2,139,000	2,192,942	△53,942	
利息収入	13,000	9,780	3,220	
業務受託収入	1,998,000	1,999,000	△1,000	
雑収入	128,000	184,162	△56,162	
事業活動収入計	77,750,000	76,803,387	946,613	
2. 事業活動支出				
事業費支出	62,746,000	50,408,485	12,337,515	
入場料支出	220,000	146,000	74,000	

# 収支計算書

令和2年04月01日から令和3年03月31日まで

会 計： 一般会計

(単位： 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
会費還付金支出	2,000	0	2,000	
旅費交通費支出	78,000	10,220	67,780	
通信運搬費支出	2,565,000	1,960,037	604,963	
消耗品費支出	2,935,000	2,319,718	615,282	
印刷製本費支出	3,718,000	3,616,030	101,970	
広告宣伝費支出	687,000	609,300	77,700	
賃借料及び使用料支出	54,000	13,050	40,950	
保険料支出	7,000	3,500	3,500	
住宅災害保険料支出	343,000	342,874	126	
共済給付金支出	29,952,000	25,406,080	4,545,920	
健康管理給付金支出	5,912,000	5,676,000	236,000	
諸謝金支出	222,000	121,080	100,920	
手数料支出	88,000	32,026	55,974	
助成金支出	13,918,000	9,875,370	4,042,630	
推奨ツアー費支出	140,000	0	140,000	
食糧費支出	1,260,000	277,200	982,800	
委託費支出	645,000	0	645,000	
管理費支出	25,287,000	23,380,108	1,906,892	
給料手当支出	14,141,000	14,140,474	526	
臨時雇賃金支出	10,000	0	10,000	
福利厚生費支出	2,454,000	2,335,223	118,777	
退職共済掛金支出	600,000	600,000	0	
会議費支出	726,000	383,766	342,234	
旅費交通費支出	9,900	0	9,900	
通信運搬費支出	1,096,000	1,082,529	13,471	
消耗品費支出	782,000	684,428	97,572	
修繕費支出	613,000	58,670	554,330	
印刷製本費支出	470,100	470,019	81	
燃料費支出	108,000	107,715	285	
賃借料及び使用料支出	467,000	466,383	617	
保険料支出	156,000	133,420	22,580	
諸謝金支出	1,058,000	877,465	180,535	



# 収支計算書

令和2年04月01日から令和3年03月31日まで

会 計： 一般会計

(単位： 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
手数料支出	1,223,000	1,023,141	199,859	
理事長交際費支出	60,000	0	60,000	
役員退職慰労金支出	150,000	60,000	90,000	
租税公課支出	905,000	789,600	115,400	
負担金支出	238,000	167,275	70,725	
雑支出	20,000	0	20,000	
事業活動支出計	88,033,000	73,788,593	14,244,407	
事業活動収支差額	△10,283,000	3,014,794	△13,297,794	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	800,000	800,000	0	
運営積立資産取得支出	800,000	800,000	0	
固定資産取得支出	231,000	231,000	0	
什器備品購入支出	231,000	231,000	0	
投資活動支出計	1,031,000	1,031,000	0	
投資活動収支差額	△1,031,000	△1,031,000	0	
Ⅲ 予備費支出				
予備費支出	240,000	0	240,000	
予備費支出	240,000	0	240,000	
当期収支差額	△11,554,000	1,983,794	△13,537,794	
前期繰越収支差額	11,554,000	15,581,153	△4,027,153	
次期繰越収支差額	0	17,564,947	△17,564,947	

## 収支計算書に対する注記

### 1 資金の範囲

資金の範囲には、現金、預金、未収金、貯蔵品、前払金及び未払金を含む。  
なお、期首及び当期末残高は、下記2に記載のとおり。

### 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

#### 一般会計

(単位：円)

科 目	期首残高	当期末残高
現金・預金	15,718,448	17,447,915
未収金	0	1,200
貯蔵品	0	169,350
前払金	0	260,700
合 計	15,718,448	17,879,165
未払金	137,295	314,218
合 計	137,295	314,218
次期繰越収支差額	15,581,153	17,564,947

令和3年4月26日

一般財団法人 飯田勤労者共済会  
理事長 佐藤 健 様

一般財団法人飯田勤労者共済会

監事 今 泉 明 洋



監事 宮 澤 民



## 監 査 報 告 書

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの、理事職務の執行、事業報告、計算関係書類に関して、本監査報告を作成し、次のとおり報告する。

### 1 監査の方法及びその内容

- (1) 理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からはその職務の執行状況の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁文書等を閲覧し、法人事務所において、業務及び財産の状況を調査した。
- (2) 当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について調査した。
- (3) 会計帳簿又はこれに関する資料の提出を求め、当該事業年度に係る計算関係書類について調査した。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書の監査結果
  - ア 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示していると認めた。
  - イ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められなかった。
- (2) 計算関係書類の監査結果  
計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めた。

令和3年度  
事業計画及び予算書

一般財団法人 飯田勤労者共済会

## 1 事業方針

飯田勤労者共済会は、創設以来、飯伊地域の事業所で働く勤労者及び事業主に対する福利厚生事業を実施することで、中小企業の振興と地域社会の発展に寄与してきました。

世界的に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、私たちの社会生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。当共済会においても令和2年度は、計画した事業の中止を余儀なくされ、各種助成金事業等の利用件数も減少しました。

このようにコロナ禍という厳しい状況下ではありますが、事業者や会員のニーズ把握に努めるとともに、既存事業の見直しを積極的に進め、会員の満足度アップにつながる魅力ある福利厚生サービスを提供してまいります。

また、法人として安定した経営基盤を強化していくためには、とりわけ会員の拡大が重要となることから、会員14,000人台維持を目標に加入促進を進めるとともに、経費の削減等に留意し健全経営に努めます。

## 2 会員への主なサービス事業

### (1) 生活安定事業

各種祝金・見舞金及び慰労金など給付事業を実施します。また、既存事業の見直しも行い会員に喜ばれる給付事業を実施します。

### (2) 健康維持増進事業

会員の健康の維持増進を図るため、スポーツ大会の開催、イベント参加に対する助成及び特定厚生福祉施設の利用助成を実施します。また、40・50・60歳到達者への健康管理給付、インフルエンザ予防接種又は人間ドック受診費用の一部を助成します。

### (3) 自己啓発・余暇活動事業

教養の向上や技術の習得を図るとともに、充実した余暇時間を過ごし、リフレッシュ等を図るための事業を実施します。

#### ア スポーツ観戦事業

各種スポーツ観戦に加え、昨年延期となった2020東京オリンピック・パラリンピック観戦に係る経費の一部を新たに助成します。

#### イ 自主企画事業

独自企画として、働くあなたを守る交通安全啓発事業については、事業所単位での参加募集により多様な研修内容を選択できる事業に見直すとともに、健康教室など会員ニーズの基づいた企画を実施します。

#### ウ 入場券などの各種チケットの購入助成及び自己啓発助成事業

「飯田丘のまちバル」をはじめ各種イベント参加チケット購入助成を行い、今後とも、地域経済の活性化の後押しを行ってまいります。また、各種資格取得に関する受験料や各種講座の受講料の一部を助成することで、引き続き、会員の能力開発の支援を行います。

#### エ 指定割引店利用助成金事業

コロナ禍において、前年度から会員への還元事業として実施しており、地域内経済循環としての効果も期待されることから内容を一部見直して継続実施します。

(4) 生活設計事業

各産業分野における人手不足に対応し、U・Iターンにより会員事業所に就職した場合に、要した必要経費の一部を新会員に対して助成します。

(5) 指定割引施設の拡充・周知のための事業

全会員に分かり易く最新の情報を提供するため、「指定割引施設」一覧のガイドブックを毎年作成し配布します。また、引き続き、募集を行うことで、「指定割引施設」の拡充を図り、会員サービスの向上に努めます。

(6) その他事業

ア 会員への当会の制度及び個々の事業等についての有益な情報提供のため、「共済会だより」の内容充実を図り多くの会員に見ていただける紙面とします。

イ ホームページを活用した様々な情報提供に努め、会員への有益な情報提供、利便性の向上及び業務の効率化を図ります。

3 加入促進に関する事業

長期的な経営安定を目指し、既存会員の脱会防止と新規会員獲得に一層努めます。

(1) 新規会員の加入促進

共済会の認知度を高めるため、幅広いマスメディアを活用し継続した広報・広告を行うとともに、未加入事業所への訪問により制度の周知を図りながら会員数拡大に努めます。

また、8月から10月までを加入推進強化月間として取り組みます。

(2) 既存会員事業所等への働きかけ

既存会員事業所訪問等を行い、事業所脱会防止に努めるとともに、会員事業主や会員からの未加入事業所の紹介による会員数拡大に取り組みます。

令和3年度 一般財団法人飯田勤労者共済会収支予算書  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

一般会計

(単位：千円)

科目名称	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入	15	19	△ 4	
基本財産利息収入	15	19	△ 4	定期預金利息
会費収入	55,190	54,410	780	
入会金収入	200	200	0	
入会金収入	200	200	0	1,000人×200円
会費収入	54,990	54,210	780	
会費収入	50,760	50,040	720	14,100人×300円×12か月
負担金収入	4,230	4,170	60	14,100人×300円
事業収入	7,980	8,449	△ 469	
生活安定事業収入	37	37	0	
住宅災害保険金収入	29	29	0	住宅災害保険金収入
還元金収入	8	8	0	全労済協会事務手数料
健康維持増進事業収入	275	275	0	
参加者負担金収入	35	35	0	ボウリング大会参加者負担金
補助事業収入	240	240	0	
自己啓発等事業収入	7,668	8,137	△ 469	
ふれあい事業負担金収入	423	776	△ 353	ワインセミナー、各教室、体験等
補助事業収入	7,245	7,361	△ 116	コンサート、人形劇、入浴チケット、各種カード等
補助金収入	12,913	12,733	180	
補助金収入	12,913	12,733	180	
地方公共団体補助金収入	12,913	12,733	180	14,348人×900円（令和2年11月1日現在数）
雑収入	2,351	2,139	212	
雑収入	2,351	2,139	212	
利息収入	12	13	△ 1	預貯金利息
業務受託収入	2,264	1,998	266	業務等受託料収入
雑収入	75	128	△ 53	労金等配当金等
事業活動収入計	78,449	77,750	699	
2 事業活動支出				
事業費支出	63,984	62,746	1,238	
入場料支出	188	220	△ 32	ゴルフコンペ、ボウリング大会
会費還付金支出	2	2	0	
旅費交通費支出	78	78	0	近隣SC訪問等
通信運搬費支出	1,880	2,607	△ 727	共済会だより、申請案内、ダイレクトメール等
消耗品費支出	3,086	2,753	333	各種カード、各大会賞品、参加賞等
印刷製本費支出	2,984	3,272	△ 288	共済会だより、パンフ、各種申請書等
広告宣伝費支出	699	687	12	新聞、市町村広報誌、週刊紙・FM広告等
賃借料及び使用料支出	28	54	△ 26	グラウンド・会場使用料
保険料支出	7	7	0	レクリエーション保険
住宅災害保険料支出	345	341	4	全福ネット慶弔共済保険掛金
共済給付金支出	30,413	29,966	447	地元定着促進就職祝金、結婚祝金、死亡見舞金、高齢者会員特別給付、住宅災害見舞金等
健康管理給付金支出	6,204	6,102	102	40・50・60歳到達者給付
諸謝金支出	458	222	236	教室・セミナー講師謝金、加入促進謝礼

## 一般会計

(単位：千円)

科目名称	予算額	前年度予算額	増減	備考
手数料支出	56	67	△ 11	SDカード取得手数料
助成金支出	16,958	14,323	2,635	コンサート、人形劇、入浴カット、丘のまちパル指定割引店利用・自動車運転免許優良「SG」更新・人間ドック受診料・インフルエンザ予防接種・U・Iターン助成等
推奨ツアー費支出	140	140	0	推奨ツアー参加助成
食糧費支出	458	1,260	△ 802	ワインセミナー
委託費支出	0	645	△ 645	主催旅行委託料
管理費支出	24,792	25,287	△ 495	
給料手当支出	14,131	13,983	148	職員5名
臨時雇賃金支出	10	10	0	
福利厚生費支出	2,465	2,454	11	各種保険料等
退職共済掛金支出	600	600	0	職員5名
会議費支出	480	726	△ 246	理事会、評議員会等
旅費交通費支出	285	285	0	出張旅費等
通信運搬費支出	1,200	1,096	104	郵送料、電話代、切手等
消耗品費支出	782	782	0	事務消耗品、コピー用紙等
修繕費支出	613	613	0	車検、事務機器修繕等
印刷製本費支出	206	428	△ 222	封筒、名刺等
燃料費支出	107	105	2	ガソリン代
賃借料及び使用料支出	444	395	49	コピーリース料、会議室使用料等
保険料支出	156	156	0	自動車保険等
諸謝金支出	1,102	1,058	44	税理士・司法書士報酬等
手数料支出	1,725	1,223	502	金融機関振込手数料、HP管理運営費等
理事長交際費支出	60	60	0	
役員退職慰労金支出	60	150	△ 90	
租税公課支出	108	905	△ 797	法人税、自動車税等
負担金支出	238	238	0	全福センター・県連協議会会費等
雑支出	20	20	0	
事業活動支出計	88,776	88,033	743	
事業活動収支差額	△ 10,327	△ 10,283	△ 44	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入	0	0	0	
運営積立資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出	800	800	0	
運営積立資産取得支出	800	800	0	会員管理システム更新のための積立金
固定資産取得支出	0	231	△ 231	
什器備品購入支出	0	231	△ 231	
投資活動支出計	800	1,031	△ 231	
投資活動収支差額	△ 800	△ 1,031	231	
III 予備費支出	530	240	290	
当期収支差額	△ 11,657	△ 11,554	△ 103	
前期繰越収支差額	11,657	11,554	103	
次期繰越収支差額	0	0	0	



議案第50号

## 飯田市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定 について

飯田市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例を下記のとおり制定する。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

### 記

#### 飯田市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例（案）

飯田市固定資産評価審査委員会条例（昭和32年飯田市条例第41号）の一部を次のように改正する。

第1条の見出し中「この条例の」を削り、同条中「基づき」を「より」に、「、必要」を「て必要」に改める。

第2条第3項中「固定資産評価審査委員会規程」を「飯田市固定資産評価審査委員会規程（平成17年飯田市固定資産評価審査委員会規程第1号）」に、「よつて」を「より」に改める。

第4条第2項中「の各号」を削り、同条第3項中「その他の社団若しくは財団」を削り、「よつて」を「よつて」に、「各号に掲げる」を「に規定する」に改め、同条第4項を削り、同条第5項を同条第4項とする。

第5条第3項中「欠缺」を「欠陥」に改め、同条第4項中「、その旨」を「その旨」に改める。

第6条第1項中「正副2通の弁明書」を「弁明書正副2通」に改め、同条第2項中「あつた」を「あつた」に改める。

第8条第2項中「つど」を「都度」に改め、同条第5項中「し、提出者がこれに署名押印」を削り、同条第6項中「先だつて」を「先立って」に改め、同条第8項中「行つた」を「行った」に改める。

第9条第2項中「行つた」を「行った」に改める。

第11条第2項中「、前項」を「前項」に、「正本をもつて」を「正本をもって」に、「、その副本をもつて」を「その副本をもって」に改める。

第13条中「よつて」を「より」に改める。

第14条中「固定資産評価審査委員会規程」を「飯田市固定資産評価審査委員会規程」に改める。

#### 附 則

この条例は、公布の日から施行する。

議案第51号

飯田市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について

飯田市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例を下記のとおり制定する。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

記

飯田市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例（案）

飯田市職員のサービスの宣誓に関する条例（昭和32年飯田市条例第5号）の一部を次のように改正する。

第1条の見出し中「この条例の」を削り、同条中「の規定に基き」を「に規定する」に改める。

第2条中「なつた」を「なった」に、「任命権者の定める上級の公務員の面前において別記様式第1により宣誓に署名」を「宣誓書（別記様式）に署名し、当該宣誓書を任命権者に提出」に、「行つて」を「行って」に改める。

第3条中「定めたものを除く外」を「定めるもののほか、」に改める。

別記様式第1中「別記様式第1」を「別記様式」に、「ここに」を「ここに」に、「且つ擁護する」を「かつ、擁護する」に、「私は地方自治」を「私は、飯田市職員として地方自治」に、「共に」を「ともに」に、「且つ能率的に」を「かつ能率的に」に、「全体」を「全体」に、「且つ公正に」を「かつ公正に」に改め、「印」を削る。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

議案第52号

飯田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

飯田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を下記のとおり制定する。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

記

飯田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（案）

飯田市職員の給与に関する条例（昭和32年飯田市条例第38号）の一部を次のように改正する。  
附則第9項中「新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令（令和2年政令第11号）第1条に規定するものをいう」を「病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る」に改める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

議案第53号

飯田市税条例の一部を改正する条例の制定について

飯田市税条例の一部を改正する条例を下記のとおり制定する。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

記

飯田市税条例の一部を改正する条例（案）

飯田市税条例（昭和32年飯田市条例第29号）の一部を次のように改正する。

第24条第2項中「及び扶養親族」の次に「（年齢16歳未満の者及び控除対象扶養親族に限る。以下この項において同じ。）」を加える。

第36条の3の3第1項中「控除対象扶養親族を除く」を「年齢16歳未満の者に限る」に改める。

附則第5条第1項中「及び扶養親族」の次に「（年齢16歳未満の者及び控除対象扶養親族に限る。以下この項において同じ。）」を加える。

附則第6条中「令和4年度」を「令和9年度」に改める。

附則第10条の2第19項を同条第20項とし、同条第18項を同条第19項とし、同条第17項の次に次の1項を加える。

18 法附則第15条第46項に規定する市町村の条例で定める割合は、3分の1とする。

附 則

（施行期日）

第1条 この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める日から施行する。

(1) 附則第6条の改正規定 令和4年1月1日

(2) 第24条第2項及び第36条の3の3第1項の改正規定並びに附則第5条第1項の改正規定並びに次条の規定 令和6年1月1日

(3) 附則第10条の2第19項を同条第20項とし、同条第18項を同条第19項とし、同条第17項の次に1項を加える改正規定 特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律（令和3年法律第31号）の施行の日

（市民税に関する経過措置）

第2条 前条第2号に掲げる改正規定による改正後の飯田市税条例の規定中個人の市民税に関する部分は、令和6年度以後の年度分の個人の市民税について適用し、令和5年度分までの個人の市民税については、なお従前の例による。

## 議案第54号

## 飯田市中山間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

飯田市中山間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例を下記のとおり制定する。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

## 記

## 飯田市中山間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例（案）

飯田市中山間地域における地域振興住宅の運営に関する条例（平成22年飯田市条例第18号）の一部を次のように改正する。

第5条第3項中「飯田市住宅基本計画」を「飯田市住生活基本計画」に改める。

別表中

「

龍江大平第1地域振興住宅	飯田市龍江7331番地7
--------------	--------------

」

を

「

龍江大平第1地域振興住宅	飯田市龍江7331番地7
龍江柵平第1地域振興住宅	飯田市龍江6623番地6

」

に改める。

## 附 則

この条例は、令和3年7月22日から施行する。

議案第55号

飯田市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について

飯田市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例を下記のとおり制定する。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

記

飯田市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例（案）

飯田市デイサービスセンター条例（平成12年飯田市条例第12号）の一部を次のように改正する。  
第5条に次の1項を加える。

- 2 施設は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号。以下「障害者総合支援法」という。）第41条の2第1項の規定による障害福祉サービス事業所として生活介護（障害者総合支援法第5条第7項に規定する生活介護をいう。以下「共生型生活介護」という。）に関する事業を行うことができる。

第5条の2第1号中「各号に掲げる」を「に規定する」に改める。

第6条に次の1号を加える。

(3) 共生型生活介護に関する事業 障害者総合支援法第19条第1項の支給決定を受けた者  
第9条第2項に次の1号を加える。

(3) 共生型生活介護に関する事業 障害者総合支援法に基づき厚生労働大臣が定める基準により算定して得た額及び別表第2に掲げる額

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

議案第56号

飯田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

飯田市国民健康保険条例の一部を改正する条例を下記のとおり制定する。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

記

飯田市国民健康保険条例の一部を改正する条例（案）

飯田市国民健康保険条例（昭和34年飯田市条例第10号）の一部を次のように改正する。

附則第6項中「新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）附則第1条の2に規定する新型コロナウイルス感染症」を「新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）である感染症をいう。以下同じ。））」に改める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

議案第57号

飯田市公共下水道区域外汚水の排除に係る分担金徴収条例及び飯田市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

飯田市公共下水道区域外汚水の排除に係る分担金徴収条例及び飯田市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例を下記のとおり制定する。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

記

飯田市公共下水道区域外汚水の排除に係る分担金徴収条例及び飯田市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例（案）

（飯田市公共下水道区域外汚水の排除に係る分担金徴収条例の一部改正）

第1条 飯田市公共下水道区域外汚水の排除に係る分担金徴収条例（平成5年飯田市条例第88号）の一部を次のように改正する。

第5条第2項中「記名及び」及び「記名し、及び」を「署名又は記名」に改める。

（飯田市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正）

第2条 飯田市公共下水道事業受益者負担に関する条例（平成17年飯田市条例第116号）の一部を次のように改正する。

第6条第2項中「及び」を「又は記名」に改める。

第11条第2項中「及び」を「又はそれぞれ記名」に改める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。



議案第58号

飯田市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について

飯田市立図書館条例の一部を改正する条例を下記のとおり制定する。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

記

飯田市立図書館条例の一部を改正する条例（案）

飯田市立図書館条例（平成5年飯田市条例第47号）の一部を次のように改正する。  
第3条第1号ア中「午前10時」を「午前9時30分」に改める。

附 則

この条例は、令和3年7月1日から施行する。

## 議案第59号

## 市道路線の廃止について

下記の市道路線を廃止するため、道路法（昭和27年法律第180号）第10条第3項において準用する同法第8条第2項の規定により、議会の議決を求める。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

## 記

整理 番号	路 線 名	起 点				重要な経過地
		終 点				
1	飯田235号線	飯田市大休	7106	番 1	地先から	
		飯田市大休	7106	番 1	地先まで	
2	飯田236号線	飯田市大休	7106	番 1	地先から	
		飯田市大休	7106	番 1	地先まで	
3	飯田237号線	飯田市大休	7106	番 1	地先から	
		飯田市大休	7106	番 1	地先まで	
4	飯田238号線	飯田市大休	7106	番 1	地先から	
		飯田市大休	7106	番 1	地先まで	
5	飯田239号線	飯田市大休	7106	番 1	地先から	
		飯田市大休	7106	番 1	地先まで	

## 議案第60号

## 市道路線の認定について

下記の路線を市道に認定するため、道路法（昭和27年法律第180号）第8条第2項の規定により、議会の議決を求める。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

## 記

整理 番号	路線名	起 点			重要な経過地
		終 点			
1	座光寺285号線	飯田市座光寺	3298 番 2	地先から	
		飯田市座光寺	3276 番 6	地先まで	

## 議案第61号

## 市道路線の変更について

下記の市道路線を変更するため、道路法（昭和27年法律第180号）第10条第3項において準用する同法第8条第2項の規定により、議会の議決を求める。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

## 記

整理 番号	路 線 名	旧	起 点	重要な経過地
		新	終 点	
1	(1-57) 北市場市田線	旧	飯田市座光寺 3302 番 3 地先から	
			飯田市座光寺 3276 番 6 地先まで	
		新	飯田市座光寺 3302 番 3 地先から	
			飯田市座光寺 3369 番 地先まで	

## 令和3年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案

令和3年度飯田市の一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ191,750千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ47,661,750千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和3年6月4日提出

飯田市長 佐藤 健

第1表 歳入歳出予算補正

歳入

款	項
14 国庫支出金	2 国庫補助金
19 繰越金	1 繰越金
20 諸収入	5 雑入
歳入合計	

(単位：千円)

補正前の額	補正額	計
6,401,886	152,691	6,554,577
1,623,066	152,691	1,775,757
600,000	28,059	628,059
600,000	28,059	628,059
2,392,590	11,000	2,403,590
646,642	11,000	657,642
47,470,000	191,750	47,661,750

歳 出

款	項
7 商工費	1 商工費
10 教育費	5 社会教育費
歳 出 合 計	



(単位：千円)

補正前の額	補正額	計
2,875,955	165,790	3,041,745
2,875,955	165,790	3,041,745
4,376,744	25,960	4,402,704
1,262,036	25,960	1,287,996
47,470,000	191,750	47,661,750



歳入歳出補正予算事項別明細書

1 総括  
(歳入)

(単位：千円)

款	補正前の額	補正額	計
14 国庫支出金	6,401,886	152,691	6,554,577
19 繰越金	600,000	28,059	628,059
20 諸収入	2,392,590	11,000	2,403,590
歳入合計	47,470,000	191,750	47,661,750

(歳出)

款	補正前の額	補 正 額	計
7 商工費	2,875,955	165,790	3,041,745
10 教育費	4,376,744	25,960	4,402,704
歳 出 合 計	47,470,000	191,750	47,661,750

(単位：千円)

補 正 額 の 財 源 内 訳			
特 定 財 源			一般財源
国県支出金	地 方 債	そ の 他	
127,990		11,000	26,800
24,701			1,259
152,691		11,000	28,059

## 2 歳 入

(款) 14 国庫支出金

(項) 2 国庫補助金

款 項 目	補正前の額	補正額	計
14 国庫支出金	6,401,886	152,691	6,554,577
2 国庫補助金	1,623,066	152,691	1,775,757
2 総務費国庫補助金	290,983	152,691	443,674
19 繰越金	600,000	28,059	628,059
1 繰越金	600,000	28,059	628,059
1 繰越金	600,000	28,059	628,059
20 諸収入	2,392,590	11,000	2,403,590
5 雑入	646,642	11,000	657,642
1 雑入	646,642	11,000	657,642
歳 入 合 計	47,470,000	191,750	47,661,750

(単位：千円)

節		金額	説明	
区	分			
9	企画費補助金	152,691	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	152,691
1	純繰越金	28,059	純繰越金	28,059
7	商工費雑入	11,000	宿泊割引クーポン販売収入	11,000

### 3 歳 出

(款) 7 商工費

(項) 1 商工費

款 項 目	補正前の額	補正額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
7 商工費	2,875,955	165,790	3,041,745	127,990		11,000	26,800
1 商工費	2,875,955	165,790	3,041,745	127,990		11,000	26,800
3 金融対策費	1,516,111	104,600	1,620,711	104,600			0
				104,600			0
				(国)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			104,600
4 観光費	296,361	61,190	357,551	23,390		11,000	26,800
				873			0
				(国)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			873
							26,800
				22,517		11,000	0
				(国)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			22,517
				(諸)宿泊割引クーポン販売収入			11,000
10 教育費	4,376,744	25,960	4,402,704	24,701			1,259
5 社会教育費	1,262,036	25,960	1,287,996	24,701			1,259
4 公民館費	375,332	25,960	401,292	24,701			1,259
				7,963			0
				(国)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			7,963
				16,738			1,259



(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
18 負担金補助及び交付金	104,600	<b>11融資事業費</b> 104,600 <b>01中小企業金融対策事業費</b> 104,600 18 負担金補助及び交付金 104,600 中小企業振興資金保証料 78,000 市制度資金利子補給金 26,600
1 報酬	861	<b>01人件費</b> 873 <b>03会計年度任用職員人件費</b> 873 1 報酬 861 報酬 (パートタイム) 861
8 旅費	12	8 旅費 12 費用弁償 (パートタイム) 12
10 需用費	1,067	
12 委託料	450	<b>10観光事業費</b> 60,317 <b>09観光まつり振興事業費</b> 26,800 18 負担金補助及び交付金 26,800 飯田春夏まつり補助金 3,300 飯田まつり補助金 8,500 飯田お練りまつり補助金 15,000  <b>16緊急経済対策事業費</b> 33,517 10 需用費 1,067 印刷製本費 1,067 12 委託料 450 飯田市民応援割事業宣伝業務委託料 450 18 負担金補助及び交付金 32,000 飯田市民応援割事業補助金 32,000
18 負担金補助及び交付金	58,800	
11 役務費	1,402	<b>11公民館事業費</b> 7,963 <b>02公民館事業費</b> 7,963 11 役務費 143 通信運搬費 143 12 委託料 5,300 感染症検査業務委託料 5,300 18 負担金補助及び交付金 2,520 市成人式補助金 2,520
12 委託料	22,038	
18 負担金補助及び交付金	2,520	
		<b>12公民館整備費</b> 17,997 <b>02公民館改修事業費</b> 17,997 11 役務費 1,259

## (款) 10 教育費

## (項) 5 社会教育費

款 項 目	補正前の額	補正額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
10 5 4				(国)新型コロナウイルス 感染症対応地方創生 臨時交付金		16,738	
歳 出 合 計	47,470,000	191,750	47,661,750	152,691		11,000	28,059

(単位：千円)

節		説明
区分	金額	
		通信運搬費 1,259
		12 委託料 16,738
		ネットワークシステム構築業務委託料 16,738

附表

## 補正予算給与費明細書

### 1 一般職

(1) 総括

ア 会計年度任用職員

( )内はパートタイム会計年度任用職員(外数)

(単位：千円)

区 分	職員数 (人)	給 与 費				共済費等	合 計
		報酬	給 料	職員手当	計		
補正後	121 ( 647 )	1,086,332	186,777	170,772	1,443,881	237,936	1,681,817
補正前	121 ( 646 )	1,085,471	186,777	170,772	1,443,020	237,936	1,680,956
比 較	0 ( 1 )	861	0	0	861	0	861

イ アに係る給料及び職員手当の増減額の明細

区分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)	説 明	
報 酬	861	新型コロナウイルス 関連事業による 増額	パートタイム会計年度任用職員 分	パートタイム会計年度任用職員数の状 況 令和3年7月1日 647